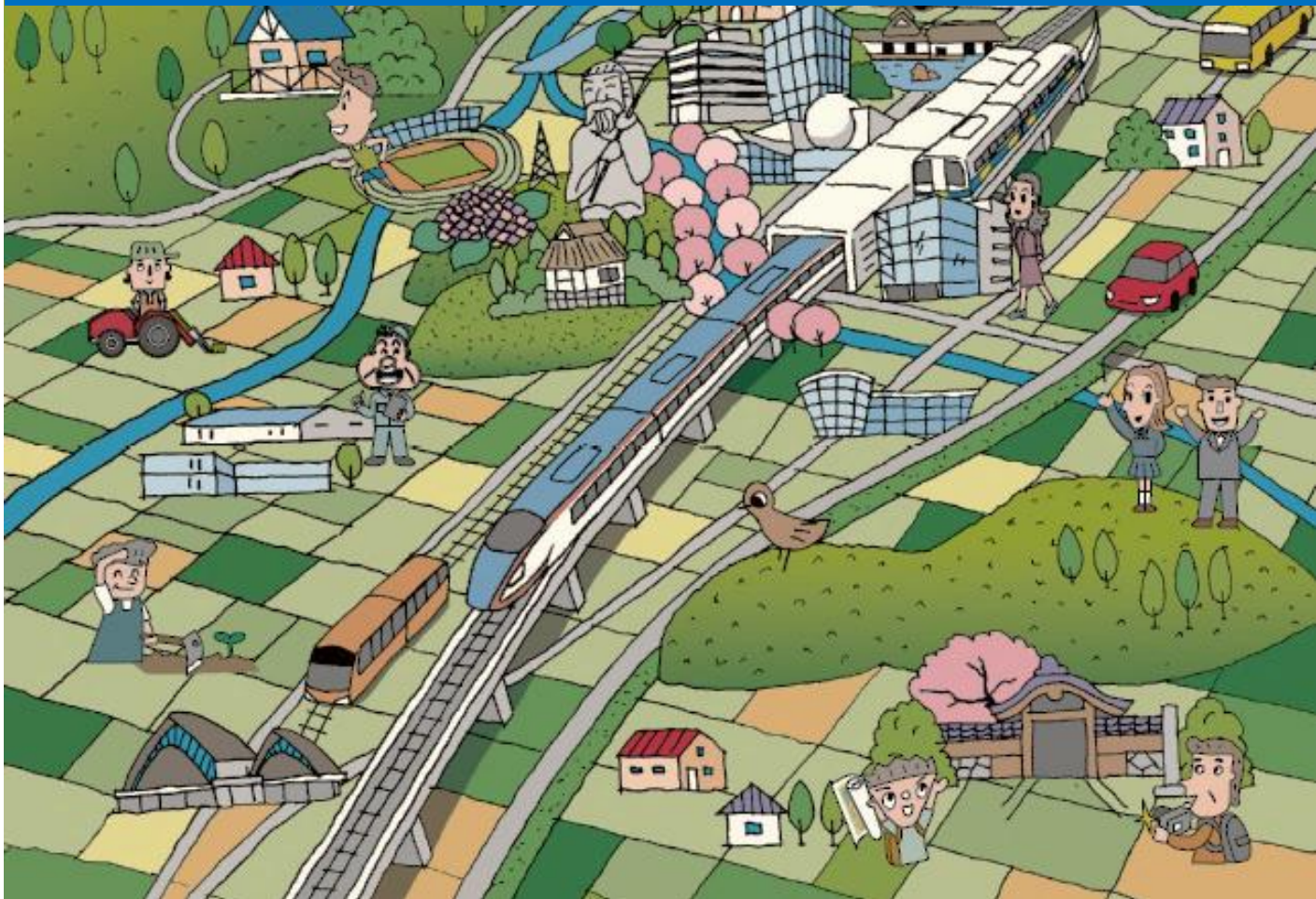


みんなが輝く
全国に誇れる
ふくい



第七次福井市総合計画の総括



目次

1 はじめに	1
2 総括の構成	1
3 総括	1
4 主な取組の実績（政策・施策別）	4
5 数値目標の達成状況	17
6 市民意識調査結果	18
【参考】数値目標の達成状況（R3年度分）	21

1 はじめに

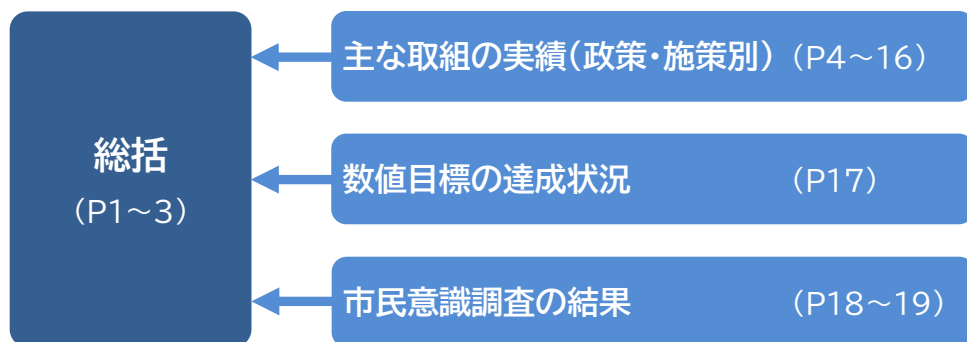
総合計画は、まちづくりを進めていくうえで最上位に位置付けられる計画であり、市政運営の基本となる計画です。

第七次福井市総合計画（以下「第七次総合計画」という。）では、計画期間である平成29年度から令和3年度までの5年間における最重要課題を人口減少社会の到来への対応と設定し、誰もが住み続けたい、住んでみたいと思えるふくいを創造していくために、将来都市像「みんなが輝く 全国に誇れる ふくい」を掲げ、この実現に向けて、各種施策等に取り組んでまいりました。

このたび、5年間における各種施策等の取組の成果について、市民の方々にわかりやすくお示しするため、総合計画の総括を行いました。

2 総括の構成

第七次総合計画の総括では、下図の3つの視点をふまえ、評価をしました。



3 総括

第七次総合計画の計画期間では、平成30年度の福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会の開催や、令和元年度の中核市移行及びふくい嶺北連携中枢都市圏の形成、また、北陸新幹線福井開業を見据え、福井を訪れる方々を迎え入れるためのまちづくりなど、本市が未来に大きく飛躍するための土台作りを進めてきました。

あわせて、頻発する自然災害に備えた強靱な地域づくりや、住民主体の地域活動への支援、子育て・教育環境のさらなる充実など、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向けて取り組んできました。

第七次総合計画に掲げる4つの分野のうち、分野1「快適に暮らすまち」については、福井駅周辺土地区画整理事業が平成31年2月に完了し、県都の玄関口にふさわしい都市拠点を形成することができました。また、再整備した中央公園では、福井では初となる本格的な野外音楽祭「ワンパーク・フェスティバル」が開催されるなど、新たなにぎわいの創出につながっています。

分野2「住みよいまち」について、子育ての面では、保育園の改修や児童クラブの整備を進めるなど、子育て環境の充実を図りました。また、健康管理センタ

一内に母子保健の拠点として、妊娠・子育てサポートセンター「ふくっこ」を開設しました。産後の心身の不調や育児不安を解消するための産後ケア、育児指導を行うなど、妊娠から出産、子育てに至るまで、切れ目のない支援体制の構築に取り組んでいます。

また福祉の面では、福井市手話言語及び障がい者コミュニケーション条例を制定しました。手話が言語であることへの理解と手話の普及を促進し、全ての市民が安心して暮らせる地域社会の実現を目指しています。

生活困窮者に対しては、総合窓口自立サポートセンターよりそいを開設し、職業紹介を行うハローワーク窓口を併設しました。より多くの人に多様で柔軟な働く場を提供することで、経済的な自立につなげています。

環境の面では、脱炭素社会の構築に向け、2050年に温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指した「ゼロカーボンシティ」を宣言し、公用車に燃料電池自動車を導入するなど、環境にやさしい取組を進めました。

分野3「生き生きと働くまち」について、観光の面では、本市を代表する観光地である一乗谷朝倉氏遺跡、まちなか、越前海岸における観光素材の磨き上げと魅力の発信に取り組んできました。また、令和元年には一乗谷朝倉氏遺跡、福井城址、養浩館庭園などの文化財を「石」をテーマにまとめたストーリーが日本遺産として認定されました。

分野4「学び成長するまち」では、将来を担う子どもたちに安全で良好な学習環境を提供するため、学校施設の計画的な更新、改修を進めました。

このように、4つの基本目標達成に向けて、さまざまな施策に取り組んだ結果、株式会社東洋経済新報社から発表された「住みよさランキング 2021」において、本市は全国総合第7位と、県庁所在地、中核市では全国第1位と、高い評価をいただいています。

一方、課題としては、平成30年の記録的な大雪の対応に多額の経費を要したことにより、29年度一般会計決算において実質収支が赤字となったことが挙げられます。この点については、「福井市財政再建計画」を着実に実行し、収支均衡した財政構造の確立に向けて、改善を図ってきたところです。

このように、第七次総合計画の将来都市像「みんなが輝く 全国に誇れるふくい」の実現に向けて様々な取組を進めてきました。その結果、総合計画実施計画に掲げた数値目標の達成度については、1年目となる平成29年度は73.9%、平成30年度は77.7%となりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症が全国的にまん延し、本市においても多くの事業を中止せざるを得なくなったことから、令和元年度については75.8%、2年度は52.5%、3年度は62.5%となりました。

このほか、令和2年度に実施した市民意識調査結果では、福井市に「住み続けたい」と回答した市民が、計画開始年度の平成29年度よりも4.2ポイント増加する結果となりました。

令和4年度からスタートする第八次総合計画においては、これまでの成果や課題をふまえ、北陸新幹線福井開業やアフターコロナへの対応など、社会情勢や本市を取り巻く環境の変化を的確に捉えて、未来の福井をしっかりと形作っていく必要があります。

コロナ禍による社会の変化を明るい未来に向けた変革のチャンスと捉え、第七次総合計画から引き継いだ将来都市像「みんなが輝く 全国に誇れるふくい」の実現に向けて、引き続き各種施策を進めていきます。

4 主な取組の実績(政策・施策別)

政策 1 中心市街地に関する政策

施策① まちなかの資源を活かした魅力と風格ある県都の顔をつくる

■福井城址周辺の歩行者空間を整備(H30)



福井駅から中央公園への動線となる福井城址周辺について、既存の桜を活かし、お堀の眺望を楽しめる歩行者空間を整備しました。

■中央公園リニューアルによる中心エリア魅力向上(H30)



「福井城址を中心とした、歴史を象徴し、人が集まる空間づくり」をコンセプトに、ビジターセンター御座所や堀割広場、堀跡噴水、遊びの広場を整備し、まちなかのにぎわいを創出しました。

施策② にぎわいのある空間を創出しまちなかの活性化を図る

■ハピリンを拠点とした新たなにぎわいを創出



「あげフェス」「メロンまつり」などの食に関するイベントや、アイススケート場「ハピリンク」の設置などにより、年間を通じて市民や観光客が集まるにぎわい空間を創出しました。

施策③ 北陸新幹線の整備を進める

■北陸新幹線福井開業に向けた環境整備



観光、経済、地域の活性化に大きな効果が見込まれる北陸新幹線福井開業に向けて、用地の取得や沿線地域の環境を整備し、開業準備を着実に進めました。

■「観光交流センター」の整備促進



公共交通利用者や福井駅周辺を訪れた方の利便性、快適性の向上を図るため、新幹線駅東側に、観光案内所やカフェ、展示・交流スペース等を備えた観光交流センターの整備を進めました。

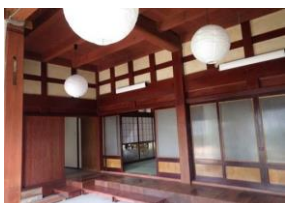
施策①地域の特色と資源を活かした個性豊かな地域をつくる

■「福井市応援隊」の結成による関係人口の創出(H29～)



本市の魅力首都圏から発信するため、首都圏在住で、本市にゆかりや愛着・関心がある方々により「福井市応援隊」を結成。令和3年度末の会員数は、800名にのぼり、様々なイベント等を通じて、福井市の魅力を発信しました。

■里地・里山を活性化



里地・里山地域の活性化を図るため、農業や地域資源を活かした地域の取組を支援しました。美山地区や殿下地区ではミニ直売所の設置や農家民宿の整備が進められ、地域の魅力向上につながりました。

施策②地域の生活を支える利便性の高い交通システムを構築する

■公共交通拠点を整備



公共交通の利用促進と利便性向上を図るため、えちぜん鉄道、福井鉄道、京福バスが結節する田原町駅周辺の整備を行いました。多目的待合施設「田原町ミュージズ」では様々なイベントが開催され、にぎわいの創出に繋がりました。

■鉄道施設の整備・改良による利便性向上



福井駅付近連続立体交差事業によるえちぜん鉄道の駅の整備（福井駅、新福井駅、福井口駅）や越前島橋駅のパーク＆ライド駐車場の整備、福井鉄道福井城址大名町電停の改良の支援等を行い、鉄道利用者の利便性向上を図りました。

施策③快適な市民の憩いの場をつくる

■公園のリニューアルを実施



市民にとって最も身近な憩いの場である公園のリニューアルを行い、子どもから高齢者まで安全で快適に過ごせる環境を整備しました。

政策 3 生活インフラに関する政策

施策①強靱な社会基盤を整備する

■道路や橋梁など生活の基盤となるインフラを整備



安全で快適な生活環境を確保するため、定期的に道路や橋梁等を点検するとともに、道路の整備や橋梁の補修等を進めました。

■土地区画整理事業による良好な住環境を整備



森田地区において平成8年度から進めてきた区画整理事業が令和2年度に完了し、良好な市街地として整備しました。

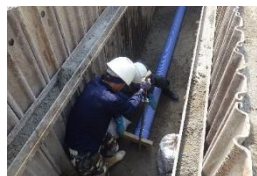
■老朽化したポンプ場の更新に着手



下水道の合流区域における浸水対策として、排水能力の向上を図り、市民の安全・安心を確保するため、老朽化した加茂河原ポンプ場の更新工事を進めました。

施策②生活排水を適切に処理し良好な水環境を維持する

■下水道未普及地区の下水道施設を整備



公共下水道事業計画区域において、公共用水域の水質を保全するとともに、衛生的で快適な生活環境を提供できるよう、未普及地区への下水道管路施設の整備を進めました。

施策③安全で安心なおいしい水と都市ガスを安定供給する

■基幹管路の耐震化や定期的な水質検査を実施



災害時においても水道水を安定して供給できるよう、重要な基幹管路の耐震化を進めました。

■福井市ガス事業を民間事業者に譲渡(R2)



ガスの小売りが全面自由化する中、都市ガスを市民が将来にわたって安全に安心して利用できる環境を維持するため、ガス事業を民間事業者に譲渡しました。

政策 4 女性活躍、多文化共生、協働、まちづくりに関する政策

施策①女性が輝く社会の実現を図る

■女性活躍や男性の家事・育児への参画を促進



福井で働く女性がキャリア形成について意見交換を行う交流会や、企業向けにワーク・ライフ・バランスセミナーを開催するなど、女性活躍に向けた意識改革を図るとともに、「家事・育児シェア見える化シート」の作成・活用等を通じ、男性の家事・育児への参画を促進しました。

施策②多文化共生の地域づくりと国際交流を推進する

■スロベニア共和国とのホストタウン交流(H29～)



東京オリンピック・パラリンピック競技大会参加国との相互交流を図る「ホストタウン」に、スロベニア共和国を相手国として登録され、来福したスロベニア代表選手等との交流を深めました。

施策③力を出し合いみんなで担う協働のまちづくりを進める

■市民のボランティア活動を支援



市民のボランティア活動への関心や意欲を高め、実際の活動へつなげていくための各種講座や体験活動を実施するとともに、ふくい市民活動基金による助成などを通して、市民と行政との協働を進めました。

施策④住民が主体となったまちづくりを進める

■地域住民が行うまちづくり活動を応援



住民が地域の特色や課題等をふまえて将来像を描き、その実現に向けた取組を見える化した「地域未来づくりビジョン」の策定や取組を支援しました。また、本市独自の取組として、ふるさと納税を地域活動に活用できる仕組みを創設し、魅力ある地域づくりを応援しました。

■地域おこし協力隊が各地域で活躍



都市地域から移住した方がその地域のブランドの開発やPRなどの地域協力活動を行う「地域おこし協力隊」が、ジビエ商品の企画販売や農家レストランの運営支援を行い、地域の活性化に取り組みました。

政策 5 福祉に関する政策

施策①生涯にわたる健康づくりを支援する

■子ども医療費の窓口無料化を実施(H30~)



安心して子どもを産み育てられる環境の充実を図るため、中学3年生までの子どもの医療費を助成し、窓口無料化（自己負担金を除く）を実施しました。

■地域保健の拠点となる福井市保健所を設置(R元)



中核市移行に伴い、移譲された権限を活用して市民に保健衛生サービスを提供するため、福井市保健所を設置しました。

施策②子どもが健やかに生まれ育つ環境をつくる

■「妊娠・子育てサポートセンターふくっこ」を開設(H30)



安心して妊娠・出産・子育てができるよう妊娠期から切れ目ない支援を行うため、母子保健の拠点として、健康管理センター内に「妊娠・子育てサポートセンターふくっこ」を開設しました。

施策③高齢者が生涯にわたって社会参画でき安心して暮らせる環境をつくる

■高齢者が気軽に集うことができる交流拠点を設置



元気な高齢者が自由に楽しく集える地域の仲間との交流拠点として、集会場などを利用した「いきいき長寿よろず茶屋」を設置し、高齢者自身の生きがいづくり及び地域のネットワークづくりを支援しました。

施策④障がいのある人が地域で安心して生活できるよう支援する

■「福井市手話言語及び障がい者コミュニケーション条例」の制定(R元)



講演会の開催や手話奉仕員養成研修の実施、手話と音楽のイベント「DREAMフェス」などを通じて、手話が言語であることの理解と手話の普及に努めました。

施策⑤生活困窮者の自立を支援する

■生活困窮者支援総合窓口「自立サポートセンターよりそい」開設(H29)



従来の生活相談に加え、就労支援を行う常設のハローワーク窓口を併設した総合窓口を開設し、ワンストップできめ細かな支援を実施しました。

政策 6 環境に関する政策

施策①良好な生活環境や水とみどりが豊かな都市環境を守り育てる

■地域住民による緑化・美化活動を支援



地域の特性や景観に応じた花壇づくりやプランター整備などの緑化活動を行う市民団体や、河川・公園の美化活動を行う市民団体を支援し、水とみどり豊かなまちづくりに取り組みました。

施策②環境負荷低減の取組を推進する

■ごみ処理施設の整備推進



環境にやさしく、安全で災害に強い新たなごみ処理施設を整備するため、基本計画や環境影響評価書を作成するとともに、事業者の選定を行いました。

■食品ロス削減を目的としたフードドライブを実施(R元~)



家庭で余っている食品を公共施設や商業施設などに持ち寄り、必要とする団体や施設に寄付する活動(フードドライブ)を実施しました。

■「ゼロカーボンシティ」宣言(R2)



脱炭素社会の構築に向けて、2050年に温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指したゼロカーボンシティを宣言し、公用車に燃料電池自動車を導入するなど、環境にやさしい取組を進めました。

施策③環境について考え行動できる人づくりを進める

■環境にやさしいまちづくりを推進



「環境フェア」など市民参加型のイベントを通じて、日常生活で温暖化対策に取り組むクールチョイスや、様々な環境問題への関心が深まるよう、持続可能な社会の実現に向けた啓発活動を実施しました。

政策 7 防災、安全安心に関する政策

施策①地域の防災力を高める

■地域と連携した**防災訓練**を実施



地震やゲリラ豪雨による風水害などの災害発生時において、自らの命を守る行動をとることができるよう、各地域の自主防災組織と連携し、福井市総合防災訓練を実施しました。

施策②火災等から人命と財産を守る

■**消防情報管制システム**を整備(H29)



福井市消防局内に、多言語翻訳やスマートフォンのチャット形式での119番通報などに対応した消防情報管制システムを整備し、迅速かつ的確な消防・救急活動を実施しました。

施策③地域における防犯力を向上する

■**防犯灯や防犯カメラ**の設置を支援



地域における犯罪の未然防止と安全で明るいまちづくりを進めるため、街路灯（防犯灯）や防犯カメラの設置などについて支援しました。

施策④安全で安心な消費生活を支える

■**消費者教育・啓発**を実施



悪質商法や特殊詐欺などの被害から市民を守るため、消費生活に関する幅広い知識習得を目的とした講演会や寸劇を交えた出前講座などを行いました。

施策⑤交通安全対策を推進する

■市民の**交通安全意識**を啓発



交通安全意識の向上を図るとともに交通事故の縮減を目的として、子どもや高齢者を対象とした交通安全教室を開催しました。また高齢者の運転事故を抑制するため、認知機能セルフチェックの実施などを通じて運転免許の自主返納の啓発を行いました。

政策 8 農林水産業に関する政策

施策①稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る

■三里浜ドリームプロジェクトの推進



三里浜砂丘地におけるオリーブ栽培を成功に導き、一大産地化、観光地化を目指すプロジェクトに取り組みました。

施策②伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する

■森林環境譲与税を活用した森林整備(R元～)



令和元年度から導入された森林環境譲与税を活用し、森林整備を進めるための経費に対する支援や、担い手確保のための講習会の開催、木材の利用促進に向けた協議会の設立などに取り組みました。

施策③農産物のブランド化と需要を拡大する

■インフルエンサーと連携し福井の食をPR (R3)



農林水産物等を国内外に向けて効果的・戦略的にPRするため、EXILE/EXILE THE SECONDの橘ケンチさんを「福井市食のPR大使」に委嘱し、福井の食の魅力を発信しました。

■農林水産品等をインターネット上で販売するECサイトを開設(R3～)



福井市の風土に根差した生産者の方が心を尽くしてつくった産品を消費者に届けるお取り寄せ・贈り物サイト「ふくいさん」を開設し、本市農林水産品物の販路開拓を行いました。

施策④農山漁村の生活環境を守る

■有害鳥獣対策及びジビエ利活用を推進



農作物及び生活環境被害を防止するため、捕獲隊や地域等と連携し、捕獲と防除に取り組みました。また、捕獲獣の有効活用を図るため、学校給食や食のイベントなどを通じて、ジビエ普及に取り組みました。

政策 9 商工業に関する政策

施策①地域の商工業を振興する

■企業立地を推進



市外からの企業誘致や市内企業の事業拡大等に伴う企業立地の推進を図るため、企業訪問や首都圏で開催された企業立地フェアへの出展などを実施しました。

■本市の魅力ある商品を市内外にPR



西武福井店や東京の百貨店などにおいて、農林水産加工食品の認定制度「ふくいのみ」の商品などの物産展を開催し、市内外に本市の魅力ある商品をPRしました。

施策②創業の促進と事業承継の円滑化を支援する

■創業機運の醸成



地域を活性化するビジネスの創出やベンチャースピリットの醸成を目的として、「福井発！ビジネスプランコンテスト」を開催するとともに、熱意ある起業家に対して初期投資費用の支援等を実施しました。

施策③福井で働くことを応援する

■U・Iターン就職を促進



市内企業で働く魅力をPRするため、ふくいU・Iターンサマーキャンプや企業訪問ツアー、県との共催による合同企業説明会などを開催し、U・Iターン就職を促進しました。

■企業の働き方改革（ワーク・ライフ・バランス）を支援



ワーク・ライフ・バランスの重要性や必要性について事業主の理解を深めるため、職場環境の改善を啓発するセミナーを開催するとともに、中小企業雇用促進相談員による企業訪問を実施しました。

施策①文化や自然を活かした観光資源を磨き上げ発信する

■観光素材の磨き上げ



観光客を本市に呼び込むため、本市の観光拠点である一乗谷、まちなか、越前海岸における、観光メニュー（※1）の創出滞在時間に合わせた観光周遊ルートを形成しや、福井の食、歴史・文化、自然を堪能できる体験型観光プログラム（※2）の充実に取組みました。

※1 一乗谷朝倉氏遺跡でのスカイランタンツアー、養浩館庭園での観月のタベツアー、越前海岸でのウォーキングツアー など

※2 福井旅の体験手帖「ふくのね」メニューの育成

■ガラガラ山越前水仙の里キャンプ場をリニューアル(H29)



越前海岸における観光誘客の拠点として、天然温泉を引いたログキャビン、オートキャンプ場、ドッグラン等を整備しました。

施策②観光を通じてイメージアップを推進する

■福井市イメージロゴ「福いいネ！」によるプロモーション(R2~)



北陸新幹線福井開業に向け、本市のプロモーションの旗印となる福井市イメージロゴ「福いいネ！」を制作し、動画やポスター、ノベルティ、着ぐるみなどに活用し、多方面で本市の魅力を強力にアピールしました。

■インバウンド誘客に向けた情報発信



フランス・パリで開催されたジャパンエキスポや旅行見本市等で観光PRを行いました。また、台湾やタイに向けては、台北国際旅行博やタイ国際旅行博などに参加し、PRしました。

施策③おもてなしの充実を図る

■おもてなし市民運動を推進



市民総ぐるみのおもてなし力の向上のため、おもてなしセミナーを開催したほか、地域のけん引役となるよう、おもてなしマイスターやスーパーマイスターを認定しました。

政策 11 文化、歴史、自然に関する政策

施策①市民の誇りとなる文化芸術を振興する

■ふくいバーチャル文化祭が開幕(R3)



新たな文化芸術活動の発表と活動の場として、「ふくいバーチャル文化芸術祭」をウェブ上で開催しました。92作品の応募と、6,000人以上の視聴があり、多くの市民等に文化芸術に親しむ機会を提供しました。

■美術館での魅力ある企画展を開催



令和3年に開催した企画展「MINIATURE LIFE 展 -田中達也 見立ての世界-」では、過去最高の入館者数に迫る47,000人以上の方が訪れ、芸術鑑賞を楽しむ機会を提供しました。

施策②歴史や文化遺産を保存・承継し活用する

■国指定の重要文化財である大安寺の修理事業を支援



貴重な文化財である大安寺について、本堂を始めとする建造物の大規模修理を支援しました。

■NHK大河ドラマと関連した企画展を開催(R2)



福井市立郷土歴史博物館において、2020年NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公である明智光秀と本市の関わりをテーマとした企画展を開催し、大河ドラマを契機とした本市の歴史に触れる機会を提供しました。

施策③自然科学教育で子どもの夢を育てる

■セーレンプラネットで魅力あるイベントを開催



リアル8Kドームシアターにおける迫力あるプラネタリウム番組の投映をはじめ、JAXAや福井県民衛星プロジェクトなどと連携した人工衛星に関する企画展の開催等により、最先端の科学技術を身近に感じてもらう機会を提供しました。

政策 12 学校教育に関する政策

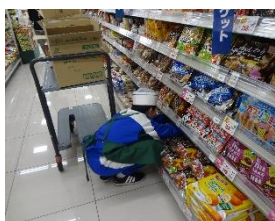
施策①子どもの生きる力を伸ばす学校教育を充実する

■英語教育の充実



令和2年度から小学校で英語が教科化されたことに伴い、子ども達がこれまで以上に外国の文化に触れ、英語に慣れ親しむことができるよう、小学校専属ALT（外国語指導助手）を増員しました。

■キャリア教育の充実



子どもたちの自立心を高めるため、学校と地域・企業をつなぐ福井市キャリア教育コーディネーターの任用や、キャリア教育プログラムの作成などにより、キャリア教育を充実しました。

施策②子どもの健康増進を図る

■新学校給食センターの整備推進



令和6年4月の供用開始を目指して、新学校給食センターの基本計画や実施方針を策定し、整備運営を行う事業者の選定を行いました。

施策③子どもの健全な育成を図る

■ネットパトロールを開始(R3～)



インターネット上での誹謗中傷や個人情報の流出など、トラブルの早期発見と被害の拡大防止を目的として、子どものSNS上の不適切な投稿を検知する「ネットパトロール」を開始しました。

施策④学びの場としての学校環境を整備する

■学校の学習・生活環境向上



児童・生徒が快適に学び、安心して過ごせるよう、学校トイレの洋式化や、音楽室への空調設備の設置、学校体育館のバリアフリー化、照明のLED化、窓ガラス飛散防止対策などを実施しました。

政策 13 生涯学習、生涯スポーツに関する政策

施策①市民の生涯学習を支援する

■公民館と小学校の複合化を実施(R元)



耐震性に課題のあった順化公民館の機能を順化小学校に移転することにより、市民が安心して利用することが可能となりました。また、小学校と複合化することにより、多様な世代間の交流機会を生み出し、地域のコミュニティ活動を促進しました。

■市立図書館のリニューアルを推進



老朽化が進み耐震性に課題のある市立図書館について、市民が安心して図書館に集い、快適に学べるよう、令和6年春のリニューアルに向け基本設計等を進めました。

施策②市民の生涯スポーツを支援する

■「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会の開催(H30)



福井県選手団の活躍により、国体では天皇杯と皇后杯を獲得。また、全国初の試みとして、国体会期中に障スポ競技（車いすバスケットボール）を開催するなど、国体と障スポの融合に取組み、スポーツの機運醸成を図りました。

■東京2020オリンピックで活躍した選手に市民栄誉賞を授与(R3)



東京2020オリンピックの野球競技に日本代表として選出され、念願の金メダル獲得に大きく貢献した吉田正尚選手（オリックス・バファローズ）、栗原陵矢選手（福岡ソフトバンクホークス）に福井市市民栄誉賞をお贈りしました。

■フットボールセンターの整備検討



スポーツ環境の充実を図るため、スポーツ公園サッカー場を人工芝グラウンド、ナイター照明及びクラブハウスを備えたフットボールセンターに改修するための検討を行い、設計が完了しました。

5 数値目標の達成状況

第七次福井市総合計画では、計画の着実な進行と成果の見える化を図るため、実施計画に掲げる「事業の方向性」ごとに、120の数値目標を設定しています。

毎年度、数値目標の達成状況を把握・評価することで、次年度に向けた事業の進め方等の改善を行いながら施策を推進しました。

年度ごとの数値目標達成状況 (%)

	29年度 (1年目)	30年度 (2年目)	元年度 (3年目)	2年度 (4年目)	3年度 (5年目)
分野1 快適に暮らすまち	62.5 (20/32)	87.1 (27/31)	87.5 (28/32)	71.9 (23/32)	68.8 (22/32)
分野2 住みよいまち	93.9 (31/33)	87.9 (29/33)	85.3 (29/34)	64.7 (22/34)	67.6 (23/34)
分野3 生き活きと働くまち	68.8 (22/32)	62.5 (20/32)	71.9 (23/32)	40.6 (13/32)	59.4 (19/32)
分野4 学び成長するまち	68.2 (15/22)	71.4 (15/21)	50.0 (11/22)	22.7 (5/22)	50.0 (11/22)
全体	73.9 (88/119)	77.8 (91/117)	75.8 (91/120)	52.5 (63/120)	62.5 (75/120)

※達成率 (%)・・・目標達成数/目標設定数×100

※少数第2位は四捨五入

※29年度及び30年度には、足羽山公園遊園地の改修工事などにより、一部計測不能な指標があったため、分母が異なっている。

6 市民意識調査結果

(1) 市民意識調査概要

目的：第七次福井市総合計画に係る各施策等について、事業効果や市民ニーズの把握を目的に実施

対象：市内に居住する18歳以上の男女2,500人

期間：令和2年6月1日（月）～令和2年6月26日（金）

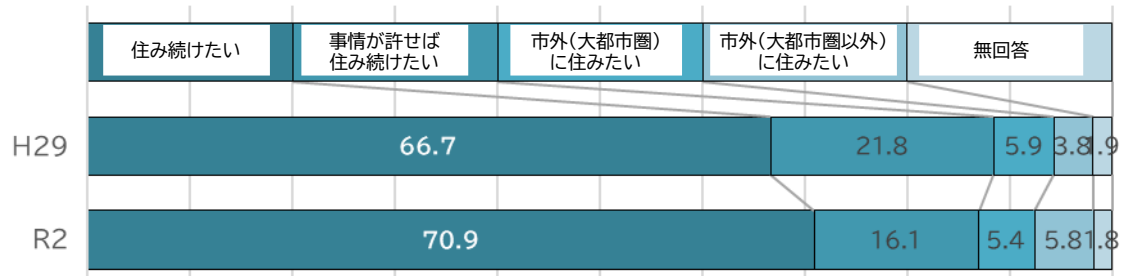
方法：郵便またはインターネットによる

回収率：41.8%（1045票）

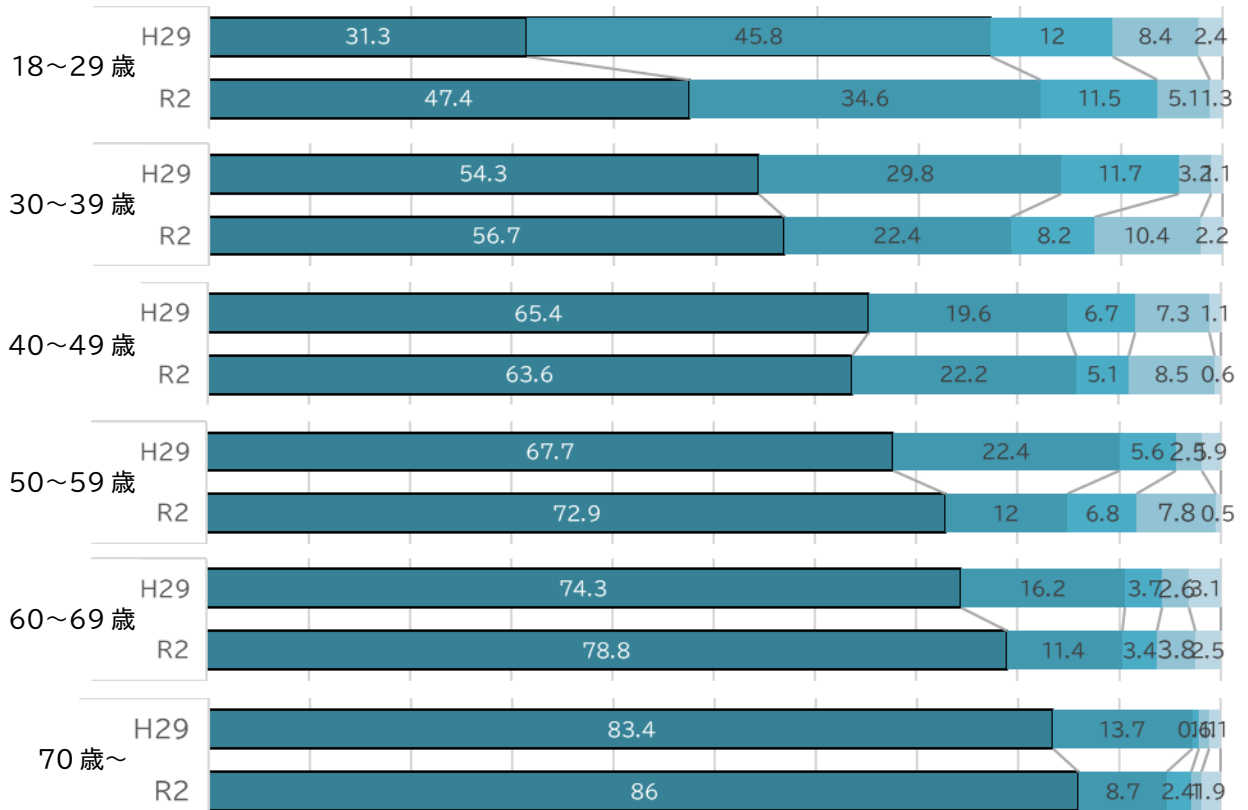
(2) 調査結果のポイント

■「福井市に住み続けたい」との回答が、4.2ポイント増加。

- ・七次総策定時の平成29年と比べると、「福井市に住み続けたい」との回答が4.2ポイント増加しました。



- ・年代別にみると、40～49歳を除き、全ての年代において、「福井市に住み続けたい」と回答した人の割合が増加しています。

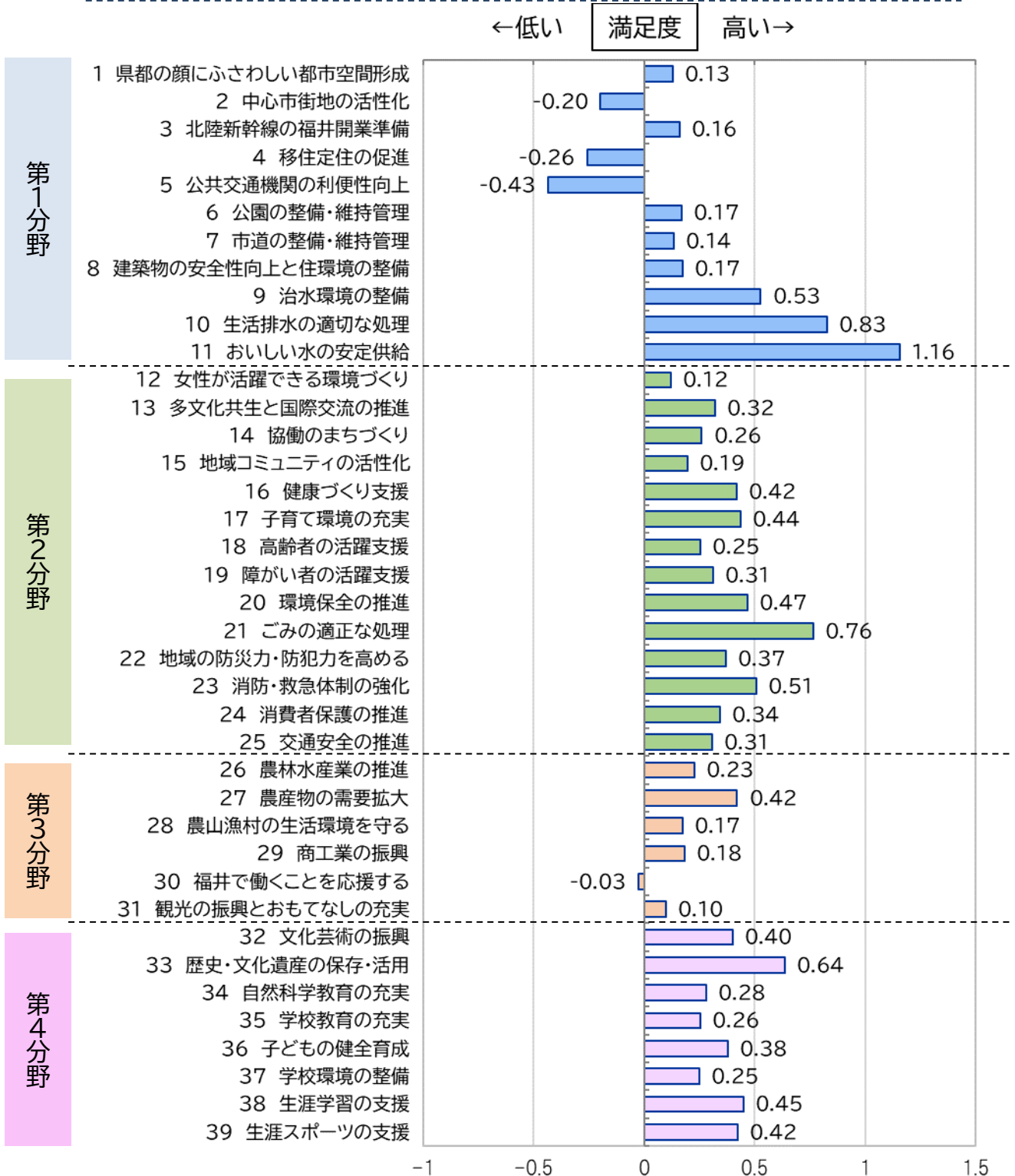


■第七次総合計画に掲げる施策の満足度について、約9割がプラス評価。

- ・39項目中、35項目でプラス評価。
- ・満足度が最も高い項目は「おいしい水の安定供給」。一方、最も低い項目は、「公共交通機関の利便性向上」となりました。

評価方法：市民が回答した満足度の項目ごとに、次のとおり点数をつけ、項目ごとに平均値を算出

満足：2点、ほぼ満足：1点、やや不満：-1点、不満：-2点

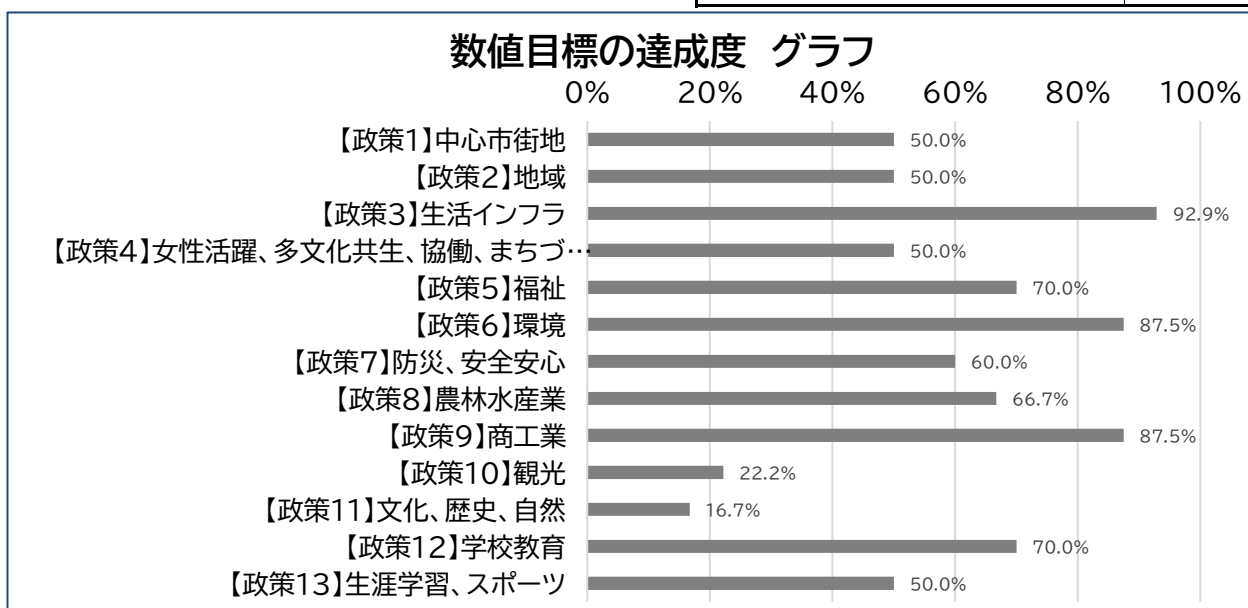


数値目標の達成状況(R3年度分)

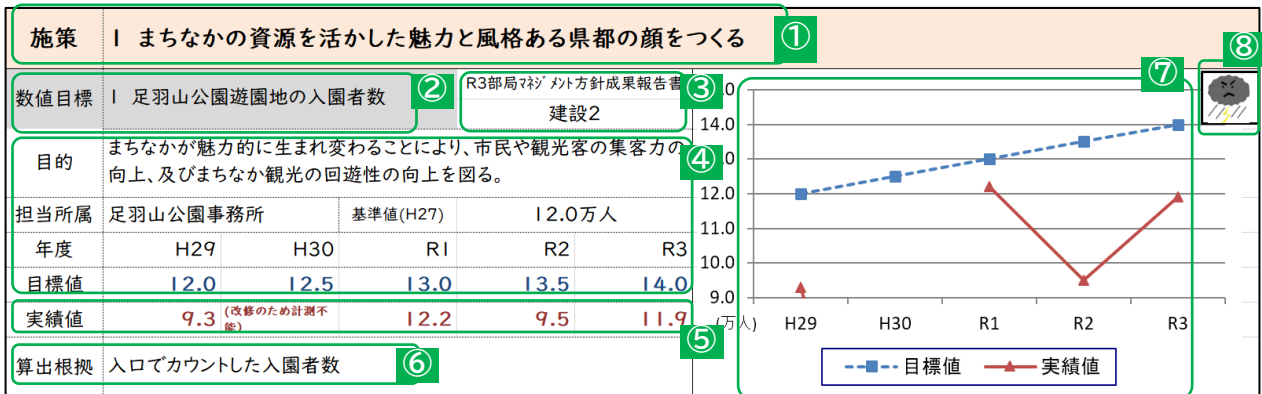
第七次福井市総合計画の具体的な事業計画として、実施計画を策定しています。
実施計画では、「事業の方向性」ごとに数値目標を設定し、総合計画の進行管理を行っています。

【数値目標の達成状況(R3年度分)】

分野	政策	設定数 (A)	目標達成 (B)	政策別 達成度	分野別 達成度
社会 基盤	【政策1】中心市街地	10	5	50.0%	68.8%
	【政策2】地域	8	4	50.0%	
	【政策3】生活インフラ	14	13	92.9%	
市民 福祉	【政策4】女性活躍、多文化共生、協働、まちづくり	6	3	50.0%	67.6%
	【政策5】福祉	10	7	70.0%	
	【政策6】環境	8	7	87.5%	
	【政策7】防災、安全安心	10	6	60.0%	
産業	【政策8】農林水産業	15	10	66.7%	59.4%
	【政策9】商工業	8	7	87.5%	
	【政策10】観光	9	2	22.2%	
教育	【政策11】文化、歴史、自然	6	1	16.7%	50.0%
	【政策12】学校教育	10	7	70.0%	
	【政策13】生涯学習、スポーツ	6	3	50.0%	
計		120	75	全体達成度(B÷A×100) 62.5%	



■各数値目標の達成状況の見方



- ①「第七次福井市総合計画」に掲げた施策です。
- ②施策に関連する数値目標の項目です。
- ③数値目標に関する具体的取組の成果を掲載されている資料(「R3部局マネジメント方針成果報告書」)の部局名と行動目標Noです。
- ④数値目標に関する概要(目的・担当所属・設定時の基準値・年度ごとの目標値)です。
- ⑤年度ごとの目標値に対する実績値(結果)です。
- ⑥数値目標の算出根拠です。
- ⑦年度ごとの目標値及び実績値をグラフ化したものです。
- ⑧最終年度(令和3年度)の達成状況について、下記の基準に基づき記号で示したものです。

※①、②、④、⑥は、「第七次福井市総合計画」に記載された内容です。

	目標達成	目標未達成	
区分	晴れ	曇り	雨
記号			
達成率 (実績値/目標値×100)	100%以上	90%以上	90%未満

中心市街地に関する政策

1 まちなかの充実した都市機能により多様な人が集まるまちをつくる

施策 まちなかの資源を活かした魅力と風格ある県都の顔をつくる					
数値目標	1 足羽山公園遊園地の入園者数		R3部局マネジメント方針成果報告書 建設2		
目的	まちなかが魅力的に生まれ変わることで、市民や観光客の集客力の向上、及びまちなか観光の回遊性の向上を図る。				
担当所属	足羽山公園事務所	基準値(H27)	12.0万人		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	12.0	12.5	13.0	13.5	14.0
実績値	9.3 (改修のため計測不能)		12.2	9.5	11.9
算出根拠	入口でカウントした入園者数				
数値目標	2 中央公園で行われるイベント数		R3部局マネジメント方針成果報告書 建設3		
目的	イベントの開催により、多様な人が集まることで、まちなかの賑わいの創出を図る。				
担当所属	公園課	基準値(H27)	3回		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	3	4	5	6	7
実績値	4	5	6	7	13
算出根拠	市に申請があったイベントの実施数				
数値目標	3 民間活力を活かした県都の顔づくり事業による補助件数		R3部局マネジメント方針成果報告書 都戦7		
目的	質の高い都市デザインに支えられた一貫性のある公共空間を創出する。				
担当所属	都市整備課	基準値(H27)	3件		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	9	15	21	27	33
実績値	8	10	11	13	14
算出根拠	良好な景観づくりに資する建物の新築や改築、又は低未利用地や公共空間を活用した広場整備や動線整備等、民間が行う景観形成事業を対象とした補助件数				
数値目標	4 福井駅周辺土地地区画整理事業進捗率		R3部局マネジメント方針成果報告書 -		
目的	福井駅利用者の利便性の向上により、公共交通機関の利用の増加を図る。				
担当所属	都市整備課	基準値(H27)	91.5%		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	99.3	100.0			
実績値	98.6	100.0			
算出根拠	事業費累計／総事業費×100				
数値目標	5 民間主体によるまちづくりへの補助件数		R3部局マネジメント方針成果報告書 都戦1		
目的	民間によるまちなかの市街地再開発と優良建築物等の整備を支援することにより、県都の顔に相応しい景観形成と、にぎわいの創出を図る。				
担当所属	都市整備課	基準値(H27)	1件		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	3	3	3	3	3
実績値	2	3	3	3	3
算出根拠	民間主体の市街地再開発事業と優良建築物等整備事業への補助件数				

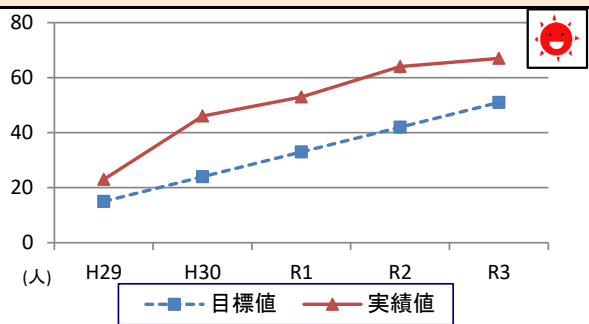
中心市街地に関する政策

1 まちなかの充実した都市機能により多様な人が集まるまちをつくる

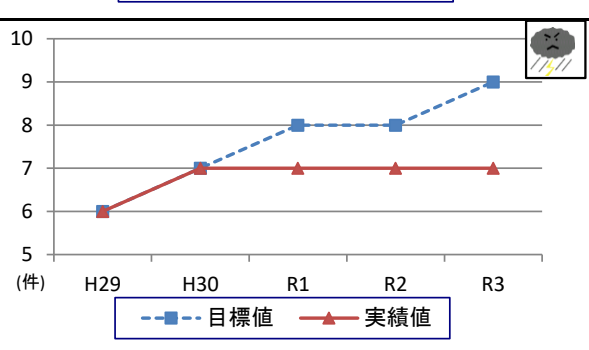
施策		2 にぎわいのある空間を創出しまちなかの活性化を図る				
数値目標	6 ハピリン入込客数	R3部局マネジメント方針成果報告書 都戦2				
目的	JR福井駅をはじめ交通結節機能に隣接するハピリンにおけるにぎわいが、中心市街地全体の活性化となることで、ふくい全体のイメージアップを図る。					
担当所属	都市整備課	基準値(H27) 一万人				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	200	200	200	200	200	
実績値	279	277	268	158	187	
算出根拠	ハピリン内全施設への入込客数の合計					
数値目標	7 市街地中心部における賑わい拠点となり得るリノベーション件数(累計)	R3部局マネジメント方針成果報告書 商工7				
目的	賑わい拠点となり得るリノベーションの実施により、まちなかエリアの活性化及び賑わいの創出を図る。					
担当所属	商工振興課	基準値(H27) 7件				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	8	9	10	11	12	
実績値	10	13	15	16	17	
算出根拠	まちなか地区(625ha)において、賑わいの拠点となり得るリノベーションの件数。実地調査により把握					
数値目標	8 まちなか住まい支援住戸数(累計)	R3部局マネジメント方針成果報告書 -				
目的	まちなか人口の減少に歯止めをかけ、まちなかに優良な住宅を整備し、長くまちなかに住み続けてもらうことにより、まちなかの活性化を図る。					
担当所属	住宅政策課	基準値(H27) 164戸				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	214	252	290	328	366	
実績値	246	278	301	311	324	
算出根拠	まちなか地区(625ha)への居住を促進する、住宅(建設・リフォーム)支援補助制度を活用した戸数					
数値目標	9 福井駅発着のバスにおける一人当たりの利用回数	R3部局マネジメント方針成果報告書 -				
目的	福井駅前発着バスの乗継利便性が向上したことにより、まちなかを起点としたバス交通のアクセス向上を図る。					
担当所属	地域交通課	基準値(H27) 17.28回				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	17.4	17.41	17.42	17.43	17.45	
実績値	18.5	18.05	17.49	13.05	13.05	
算出根拠	福井駅発着の京福バス年間乗車数/生産年齢人口					
施策		3 北陸新幹線の整備を進める				
数値目標	10 並行在来線の令和4年度開業準備	R3部局マネジメント方針成果報告書 都戦10				
目的	令和4年度末の北陸新幹線福井開業に伴い、JR西日本より経営分離される並行在来線の開業に向け、第3セクターによる円滑な経営準備を進める。					
担当所属	新幹線整備課	基準値(H27) -				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	関連調査	経営運行に関する基本方針の策定	経営計画(案)策定	第3セクター設立	経営計画策定	
実績値	関連調査	経営運行に関する基本方針の策定	経営計画(案)策定	第3セクター設立	経営計画策定	

施策 4 地域の特色と資源を活かした個性豊かな地域をつくる

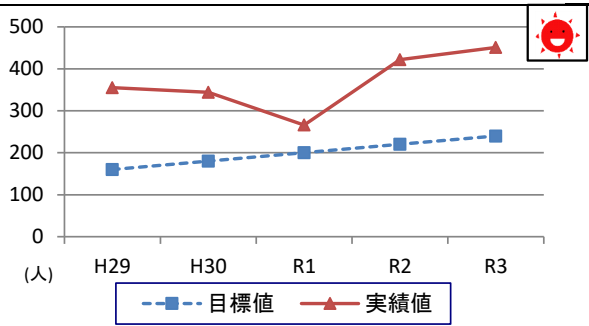
数値目標	11 多機能よろず茶屋で生活支援に 取り組むボランティア数(累計)					R3部局マネジメント方針成果報告書 —
目的	将来的に、住民を中心としたボランティアが、要支援者の訪問介護や通所介護の一部を担うことにより、介護費用の縮減を図る。					
担当所属	地域包括ケア推進課		基準値(H27)			一人
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	15	24	33	42	51	
実績値	23	46	53	64	67	



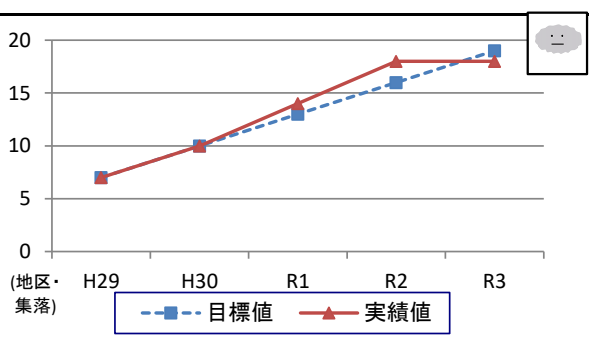
算出根拠	毎年1箇所新設する多機能よろず茶屋と、既存のよろず茶屋2箇所を多機能型に転換し、計3箇所に各3人のボランティアを配置					
数値目標	12 特定景観計画区域の地区(ゾーン)の指定数(累計)					R3部局マネジメント方針成果報告書 —
目的	特定景観計画区域を追加することにより、地区の特性に調和した景観の形成を図る。					
担当所属	都市整備課		基準値(H27)			6件
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	6	7	8	8	9	
実績値	6	7	7	7	7	



算出根拠	重点的に良好な景観の形成を図る必要があると認める区域(特定景観計画区域)の指定数					
数値目標	13 本市へのU・Iターン者数					R3部局マネジメント方針成果報告書 総務10
目的	人口減少傾向を食い止め、若年層を中心とした新しい人の流れを創出する。					
担当所属	まち未来創造課		基準値(H27)			142人
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	160	180	200	220	240	
実績値	355	344	266	422	451	

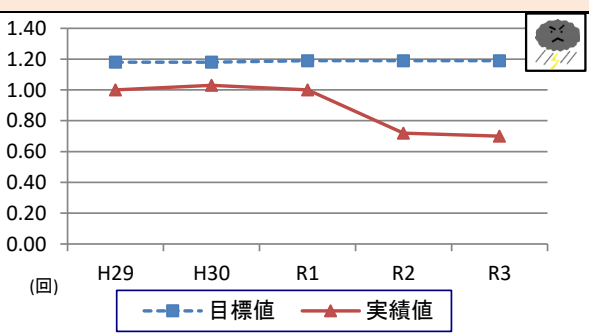


算出根拠	福井Uターンセンターでの相談や市の補助制度等を活用してU・Iターンした人数					
数値目標	14 里地・里山活性化事業に取り組む集落又は地区の数(累計)					R3部局マネジメント方針成果報告書 農林6
目的	農林漁家の所得向上や地域コミュニティの維持、交流・定住人口の増加を図る。					
担当所属	農政企画課		基準値(H27)			一集落・地区
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	7	10	13	16	19	
実績値	7	10	14	18	18	



施策 5 地域の生活を支える利便性の高い交通システムを構築する

算出根拠	地域バス年間利用者数/地域バス運行地区住民人口					
数値目標	15 地域バス運行地区住民一人当たりの地域バス利用回数					R3部局マネジメント方針成果報告書 —
目的	高齢者の地域バスの利用割合は増加傾向にあり、高齢者の生活の足確保と移動利便性の向上を図る。					
担当所属	地域交通課		基準値(H27)			1.18回
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	1.18	1.18	1.19	1.19	1.19	
実績値	1.00	1.03	1.00	0.72	0.70	



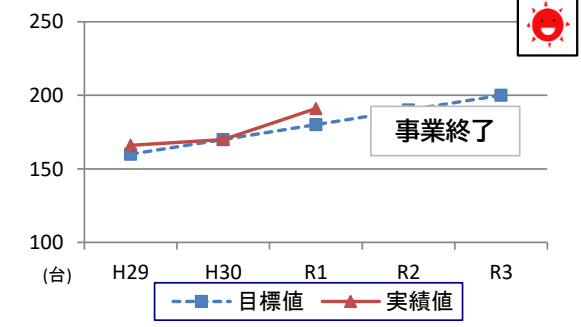
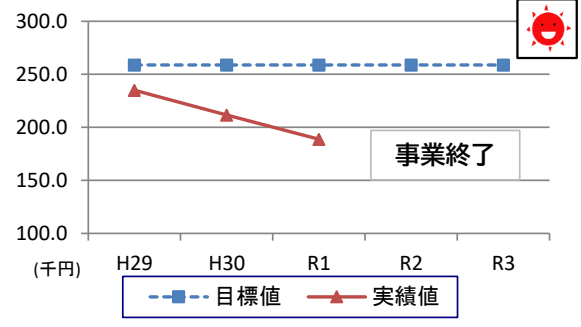
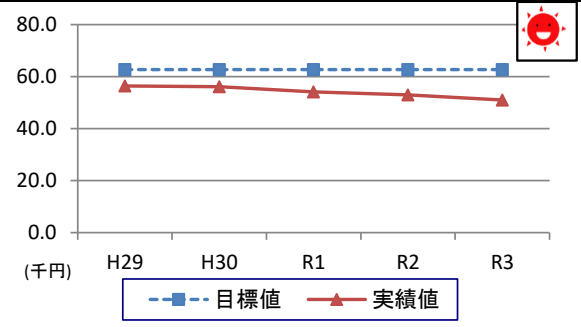
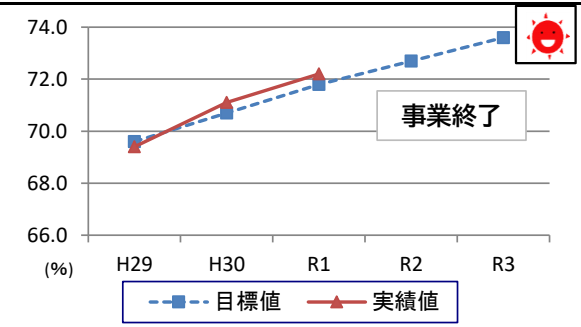
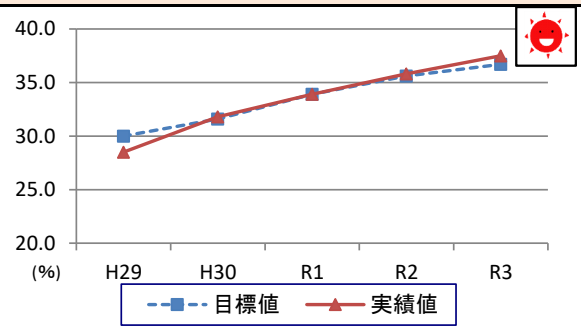
数値目標	16 えちぜん鉄道・福井鉄道の乗車人数					R3部局マネジメント方針成果報告書	—	
目的	えちぜん鉄道・福井鉄道の安定経営により、市民への公共交通サービスを提供する。							
担当所属	地域交通課	基準値(H27)			544万人			
年度	H29	H30	R1	R2	R3			
目標値	558	560	561	562	563			
実績値	560	574	561	424	476			
算出根拠	えちぜん鉄道と福井鉄道の延べ乗車人数							
施策 6 快適な市民の憩いの場をつくる								
数値目標	17 認定里川保全箇所数(累計)					R3部局マネジメント方針成果報告書	建設16	
目的	住民との合意形成により、里川の保全と継承を図る。							
担当所属	河川課	基準値(H27)			一箇所			
年度	H29	H30	R1	R2	R3			
目標値	1	2	3	4	5			
実績値	1	2	3	4	5			
算出根拠	市が認定している里川の整備・補修箇所数							
数値目標	18 公園施設リニューアル件数(累計)					R3部局マネジメント方針成果報告書	建設9	
目的	公園の整備・維持管理を推進し、利用者の安全が確保されることで、市民の精神的な安らぎや地域コミュニティの形成、子供の健全な育成を図る。							
担当所属	公園課	基準値(H27)			19件			
年度	H29	H30	R1	R2	R3			
目標値	21	21	25	29	31			
実績値	20	22	25	28	31			
算出根拠	老朽化している公園施設の更新件数							

生活インフラに関する政策 3 強靱な社会基盤と安全で快適な生活環境が整ったまちをつくる

施策		7 強靱な社会基盤を整備する				
数値目標	19 橋りょう改修率	R3部局マゼット方針成果報告書 建設5				
目的	橋梁の安全性確保により、安心して快適な生活環境を構築する。					
担当所属	道路課	基準値(H27) 33.0%				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	36.0	39.0	42.0	45.0	48.0	
実績値	33.9	38.5	44.0	51.3	58.7	
算出根拠	(橋りょう耐震化数+橋りょう補修数) / 耐震補強及び補修が必要な橋りょう数×100					
数値目標	20 河川整備率(準用河川・普通河川)	R3部局マゼット方針成果報告書 建設8				
目的	河川の整備を推進し、治水安全を確保することにより、水害の少ない都市(生活圏)を形成する。					
担当所属	河川課	基準値(H27) 56.0%				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	56.5	56.9	57.3	57.6	57.9	
実績値	56.3	56.9	57.3	57.7	57.9	
算出根拠	河川整備延長/河川総延長×100					
数値目標	21 下水道による都市浸水対策達成率	R3部局マゼット方針成果報告書 企業11				
目的	浸水被害を軽減することで、市民の生命や財産を保護する。					
担当所属	雨水対策室	基準値(H27) 73.0%				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	84.0	84.0	84.0	84.0	92.0	
実績値	84.2	84.2	84.2	84.2	84.2	
算出根拠	整備済排水区面積/福井市下水道雨水対策基本計画対象区域面積×100					
数値目標	22 木造住宅の耐震化件数(累計)	R3部局マゼット方針成果報告書 建設12				
目的	大規模地震発生時の人的及び経済的被害の軽減を図る。					
担当所属	建築指導課	基準値(H27) 180件				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	210	230	250	270	290	
実績値	205	215	222	275	291	
算出根拠	木造住宅耐震化促進事業の改修補助交付件数					
数値目標	23 森田北東部地区内人口	R3部局マゼット方針成果報告書 建設10				
目的	事業区域内の人口増加により、経済活動が活発になり、雇用機会の創出と税収入の増加を図る。					
担当所属	監理課	基準値(H27) 6,600人				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	6,900	7,200	7,500	7,800	8,200	
実績値	7,181	7,631	8,019	8,415	8,892	
算出根拠	森田北東部土地区画整理事業区域内(240.4ha)の人口					

数値目標	24 市営住宅の耐震化率		R3部局マゼット方針成果報告書 建設15			
目的	市営住宅の耐震化を推進することにより、都市基盤の強靱化を図る。					
担当所属	市営住宅課	基準値(H27)	84.6%			
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	86.0	87.1	89.0	90.1	91.3	
実績値	86.0	87.1	89.0	90.1	92.9	
算出根拠	耐震化済棟数／市営住宅の全管理棟数×100					
施策 8 生活排水を適切に処理し良好な水環境を維持する						
数値目標	25 公共下水道区域内の人口普及率		R3部局マゼット方針成果報告書 企業10			
目的	公共下水道の普及拡大に伴い、生活排水による水環境の負荷の軽減を図る。					
担当所属	下水管路課	基準値(H27)	94.0%			
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	95.0	95.6	96.2	96.8	97.4	
実績値	95.2	95.8	96.4	97.0	97.5	
算出根拠	公共下水道による汚水処理人口／公共下水道区域内人口×100					
数値目標	26 下水管路の耐震化率		R3部局マゼット方針成果報告書 -			
目的	地震や老朽化による汚水処理施設の機能停止等を未然に防ぎ、下水道サービスを安定的に提供する。					
担当所属	下水管路課	基準値(H27)	44.7%			
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	46.2	47.0	47.8	48.6	49.5	
実績値	46.0	47.3	48.1	49.0	49.9	
算出根拠	耐震化済管路延長／下水道管路総延長×100					
数値目標	27 経費回収率		R3部局マゼット方針成果報告書 企業1			
目的	公共下水道事業を安定的かつ持続的に経営する。					
担当所属	経営管理課	基準値(H27)	94.5%			
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	94.5	100.0	100.0	100.0	100.0	
実績値	100.5	99.8	120.0	104.6	111.5	
算出根拠	使用料収入／汚水処理費×100					

施策 9 安全で安心なおいしい水と都市ガスを安定供給する					
数値目標	28 水道基幹管路の耐震化率		R3部局マゼット方針成果報告書 企業4		
目的	災害時においても水道が安定して供給されることにより、市民の生命を守る。				
担当所属	水道管路課	基準値(H27)	27.4%		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	30.0	31.6	33.9	35.6	36.7
実績値	28.5	31.8	33.9	35.8	37.5
算出根拠	耐震化済基幹管路延長/水道基幹管路総延長×100				
数値目標	29 ガス導管の耐震化率		R3部局マゼット方針成果報告書 -		
目的	ガス導管の耐震化対策を促進することにより、災害時における高水準の保安レベルの維持・向上を図る。				
担当所属		基準値(H27)	67.7%		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	69.6	70.7	71.8	72.7	73.6
実績値	69.4	71.1	72.2		
算出根拠	耐震化済ガス導管延長/ガス導管総延長×100				
数値目標	30 給水人口1人当たりの企業債残高		R3部局マゼット方針成果報告書 企業1		
目的	水道事業を健全に経営し、市民に安全で安心なおいしい水を供給する。				
担当所属	経営管理課	基準値(H27)	62.7千円		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	62.7	62.7	62.7	62.7	62.7
実績値	56.4	56.1	54.1	53.0	51.0
算出根拠	企業債残高/給水人口				
数値目標	31 ガス供給件数1件当たりの企業債残高		R3部局マゼット方針成果報告書 -		
目的	ガス事業を健全に経営し、市民に安全で安心なガスを安定して供給する。				
担当所属		基準値(H27)	258.8千円		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	258.8	258.8	258.8	258.8	258.8
実績値	235.0	211.5	188.8		
算出根拠	企業債残高/ガス供給件数				
数値目標	32 先進ガス機器販売台数		R3部局マゼット方針成果報告書 -		
目的	家庭用需要家の都市ガス利用継続の確保と新規需要家獲得により、ガスの販売量増加に貢献し、ガス事業の経営安定化を図る。				
担当所属		基準値(H27)	139台		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	160	170	180	190	200
実績値	166	170	191		
算出根拠	ガス展、企業局内のガスセンターショールーム、ガスサービスショップ、ガス供給施設工事公認業者等での先進ガス機器の販売台数				



女性活躍、多文化共生、協働、まちづくりに関する政策

4 市民が自らの役割と責任を担い誰もが尊重され活躍できる住みよいまちをつくる

施策		10 女性が輝く社会の実現を図る				
数値目標	33 自身の将来設計をすることや、福井で輝きながら働くことに興味を持った女子学生の割合	R3部局マゼンタ方針成果報告書 総務16				
目的	若い女性が就職や結婚、子育てなどを含めた自身のライフプランを設計することにより、福井で活躍する女性の増加を図る。					
担当所属	女性活躍促進課	基準値(H27) 90.0%				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	
実績値	90.0	90.0	97.1	92.8	100.0	
算出根拠	関心を持った女子学生数/事業参加者数×100 (事業実施後のアンケート調査により算出)					
数値目標	34 自治会・防災・防犯などの地域活動に参加している女性の割合	R3部局マゼンタ方針成果報告書 総務16				
目的	市民の男女平等意識を高めることで、男女共同参画社会の実現を図る。					
担当所属	女性活躍促進課	基準値(H27) 28.5%				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	29.6	30.8	32.1	33.5	35.0	
実績値	37.9	36.3	47.1	37.3	21.9	
算出根拠	地域活動に参加したと回答した女性の数/女性の回答数×100					
施策		11 多文化共生の地域づくりと国際交流を推進する				
数値目標	35 通訳ボランティア育成事業の参加者数	R3部局マゼンタ方針成果報告書 商工18				
目的	外国人観光客にも対応できるボランティアを育成する。					
担当所属	おもてなし観光推進課国際室	基準値(H27) 139人				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	150	160	170	180	190	
実績値	156	161	182	-	42	
算出根拠	通訳ボランティア育成事業の参加実績					
施策		12 力を出し合いみんなで担う協働のまちづくりを進める				
数値目標	36 ボランティア活動相談件数	R3部局マゼンタ方針成果報告書 市民5				
目的	市民のボランティア活動への関心や意欲を高め、活動に結び付けることにより、市民一人ひとりが、複雑化する地域の課題を、主体的に解決する意識の醸成を図る。					
担当所属	市民協働・ボランティア推進課	基準値(H27) 一件				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	300	300	300	300	300	
実績値	441	461	471	367	499	
算出根拠	総合ボランティアセンターで取り扱った相談件数					

施策		13 住民が主体となったまちづくりを進める				
数値目標	37 自治会加入世帯数	R3部局マシナリの方針成果報告書 総務13				
目的	自治会が果たしている地域防災、地域福祉などの様々な役割がより効果的に行われることにより、住民参加による安全・安心なまちづくりを推進する。					
担当所属	まち未来創造課	基準値(H27) 77,514人				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	77,600	77,700	77,800	77,900	78,000	
実績値	77,615	77,725	77,926	78,098	78,312	
算出根拠	毎年1月時点の自治体加入世帯数					
数値目標	38 若者が主体となって取り組むまちづくりの事業数	R3部局マシナリの方針成果報告書 総務12				
目的	新たな担い手が、まちづくり組織に参画し、人材の固定化や活動のマンネリ化が解消されることにより、地域の魅力向上を図る。					
担当所属	まち未来創造課	基準値(H27) 一事業				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	8	12	16	16	16	
実績値	8	8	10	10	10	
算出根拠	地域の魅力発信事業のうち、若者(概ね16~40歳代)が実施主体となり地域を活性化させる事業(未来創造コース)へ申請のあった事業数					

施策		14 生涯にわたる健康づくりを支援する				
数値目標	39 認知症初期集中支援チームが支援した認知症高齢者等の人数	R3部局マシナリット方針成果報告書 福祉11				
目的	認知症の初期段階で、認知症初期集中支援チームの包括的・集中的支援を受けることにより、認知症の重症化抑制や、住みなれた地域で自分らしい生活を送ることを支援する。					
担当所属	地域包括ケア推進課	基準値(H27) 26人				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	35	41	48	56	65	
実績値	43	49	54	55	56	
算出根拠	新規に支援した認知症高齢者等の人数					
数値目標	40 特定健診受診率	R3部局マシナリット方針成果報告書 福祉22				
目的	生活習慣病を早期に発見または予防することで、健康寿命の延伸につながり、一人当たりにかかる医療費の抑制を図る。					
担当所属	健康管理センター	基準値(H27) 29.3%				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	33.0	35.0	37.0	39.0	41.0	
実績値	30.2	33.2	31.7	26.8	27.9	
算出根拠	特定健診受診者数/40~74歳の国保被保険者数×100					
施策		15 子どもが健やかに生まれ育つ環境をつくる				
数値目標	41 縁活(婚活)イベントにおけるカップル成立数	R3部局マシナリット方針成果報告書 総務17				
目的	成立したカップルに対し、結婚への意識を高める講座やセミナーを開催し、市が結婚への後押しをすることで、未婚率の低下や晩婚化の抑制を図る。					
担当所属	女性活躍促進課	基準値(H27) 19組				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	25	25	25	25	25	
実績値	29	31	37	17	72	
算出根拠	縁活(婚活)イベント実施後の調査により集計					
数値目標	42 妊婦面接相談実施率	R3部局マシナリット方針成果報告書 -				
目的	妊娠早期から、切れ目のない充実した支援により、安心して妊娠・出産・子育てができる体制を整備する。					
担当所属	健康管理センター	基準値(H27) 73.0%				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	74.0	84.0	85.0	86.0	87.0	
実績値	79.8	82.6	96.7	95.6	97.1	
算出根拠	交付時に保健師の面接を受けた妊婦数/母子健康手帳総交付数×100					
数値目標	43 待機児童0(ゼロ)の維持	R3部局マシナリット方針成果報告書 福祉6				
目的	私立園の運営、施設整備の両面に対する支援により、受入環境を充実させ、就学前児童を抱える世帯の保育ニーズに応える。					
担当所属	子育て支援課	基準値(H27) 0人				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	0	0	0	0	0	
実績値	0	0	0	0	0	
算出根拠	年度当初に希望する園に入れなかった児童の数					

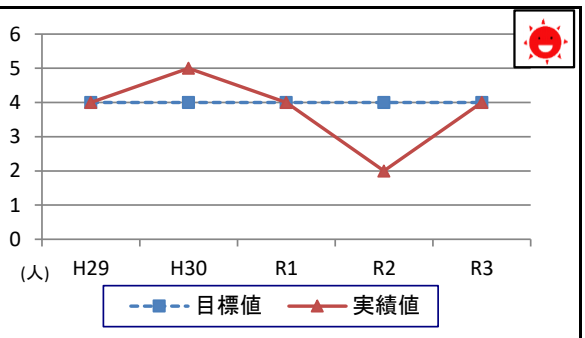
数値目標	44 放課後児童クラブ入会率	R3部局マシメント方針成果報告書 教育14					
目的	放課後留守家庭児童に適切な生活の場を提供することにより、児童の健全育成に資する。						
担当所属	放課後児童育成室	基準値(H27)	100%				
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	100	100	100	100	100		
実績値	100	100	100	100	100		
算出根拠	放課後児童クラブ等に入会した児童数/放課後児童クラブ等への入会を希望する放課後留守家庭児童数						
施策	16 高齢者が生涯にわたって社会参画でき安心して暮らせる環境をつくる						
数値目標	45 地域包括支援センターでの相談件数	R3部局マシメント方針成果報告書 福祉8					
目的	高齢者がいつでも相談できる環境を整備することで、住み慣れた地域でその人らしい安全・安心な生活を送ることを支援する。						
担当所属	地域包括ケア推進課	基準値(H27)	21,622件				
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	21,900	22,200	22,400	22,600	22,700		
実績値	26,666	27,060	27,792	28,452	29,720		
算出根拠	地域包括支援センターが、高齢者からの相談に対応した延べ件数						
数値目標	46 シルバー人材センター会員の就業率	—					
目的	高齢者の就労者数の増加により、高齢者の生きがいの充実や社会参画を促進する。						
担当所属	しごと支援課	基準値(H27)	77.3%				
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	78.0	78.5	79.0	79.5	80.0		
実績値	78.0	78.5	79.0	67.0	80.0		
算出根拠	就業者数/シルバー人材センター会員数×100						
施策	17 障がいのある人が地域で安心して生活できるよう支援する						
数値目標	47 障がい者の一般就労移行支援者数	R3部局マシメント方針成果報告書 福祉14					
目的	障がい者が、地域で安心して日常生活や社会生活を営むことができるよう支援する。						
担当所属	障がい福祉課	基準値(H27)	10人				
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	28	31	33	36	38		
実績値	28	33	45	48	38		
算出根拠	雇用調整員の支援による一般就労移行者及び就労定着支援者数						
施策	18 生活困窮者の自立を支援する						
数値目標	48 生活保護世帯の新規経済的自立世帯数	R3部局マシメント方針成果報告書 福祉16					
目的	就労者の増加により、生活保護扶助費の減少に繋がり、財政負担の軽減を図る。						
担当所属	生活支援課	基準値(H27)	58世帯				
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	63	68	71	74	77		
実績値	68	81	91	92	85		
算出根拠	就労支援により経済的に自立した世帯数						

施策		19 良好な生活環境や水とみどりが豊かな都市環境を守り育てる				
数値目標	49 環境ボランティア登録者数(累計)	R3部局マゼンタ方針成果報告書 市民6				
目的	地域での自然環境保護活動が促進され、良好な生活環境の保全を図る。					
担当所属	環境政策課	基準値(H27) 69人				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	83	86	95	100	105	
実績値	120	153	193	213	263	
算出根拠	自然環境整備活動や調査に協力するボランティア(自然ファンクラブ)に登録した人数					
数値目標	50 環境基準達成率(大気)(水質)	R3部局マゼンタ方針成果報告書 市民9				
目的	公害のない住みやすい生活環境を維持する。					
担当所属	廃棄物対策課	基準値(H27) 100%				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	100	100	100	100	100	
実績値	100	100	100	100	100	
算出根拠	<small>大気:市内全測定局における二酸化窒素の環境基準達成率 水質:主要河川におけるBOD※の環境基準達成率 (※生物化学的酸素要求量Biochemical oxygen demandの略)</small>					
数値目標	51 まち美化パートナー制度協定締結団体数(河川)(累計)	R3部局マゼンタ方針成果報告書 建設16				
目的	河川環境の保全と美化の促進を図る。					
担当所属	河川課	基準値(H27) 7団体				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	8	8	9	9	10	
実績値	11	12	13	14	15	
算出根拠	美化活動区域等について市と合意書を取り交わしている団体数					
数値目標	52 まち美化パートナー制度協定締結団体数(公園)(累計)	R3部局マゼンタ方針成果報告書 建設17				
目的	地域の自主性の促進と、公園のきめ細やかな美化を推進することにより、地域の公園に対する市民の愛着を醸成する。					
担当所属	公園課	基準値(H27) 49団体				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	57	59	61	63	65	
実績値	58	59	61	61	63	
算出根拠	美化活動区域等について市と合意書を取り交わしている団体数					
施策		20 環境負荷低減の取組を推進する				
数値目標	53 温室効果ガス排出量	R3部局マゼンタ方針成果報告書 市民6				
目的	地球温暖化防止に貢献する。					
担当所属	環境政策課	基準値(H27) 2,368千t				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	2,288	2,248	2,208	2,170	2,130	
実績値	2,429	2,214	2,171	2,170	2,130	
算出根拠	市内における電気・ガス・石油等の年間消費量を推計し、それぞれに排出係数を乗じて温室効果ガスを算出。温室効果ガスはCO2に換算。					

数値目標	54 可燃ごみに混入している資源物の割合		R3部局マニフェスト方針成果報告書 市民7			
目的	循環型社会の形成と、新ごみ処理施設整備に伴う経費の削減を図る。					
担当所属	環境政策課	基準値(H27)		28.20%		
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	27.4	27.0	26.6	26.2	25.8	
実績値	23.2	23.0	22.4	25.5	22.7	
算出根拠	混入資源物量/可燃ごみ総量×100 (ごみの内容を調査・計量し、割合を算出)					
数値目標	55 一人一日当たりのごみ排出量		R3部局マニフェスト方針成果報告書 市民7			
目的	循環型社会の形成と、新ごみ処理施設整備に伴う経費の削減を図る。					
担当所属	環境政策課	基準値(H27)		909g		
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	903	900	898	895	892	
実績値	900	894	892	868	861	
算出根拠	(燃やせるごみ+燃やせないごみ+資源ごみ)の重量/人口/365日					
施策 21 環境について考え行動できる人づくりを進める						
数値目標	56 環境に関する講座参加者数		R3部局マニフェスト方針成果報告書 市民6			
目的	市民の環境保全意識の向上を図る。					
担当所属	環境政策課	基準値(H27)		1,477人		
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	
実績値	1,697	1,727	1,837	1,207	1,985	
算出根拠	市が委託して実施する講座及び市が講師を派遣して地域が主催する学習会の参加人数					

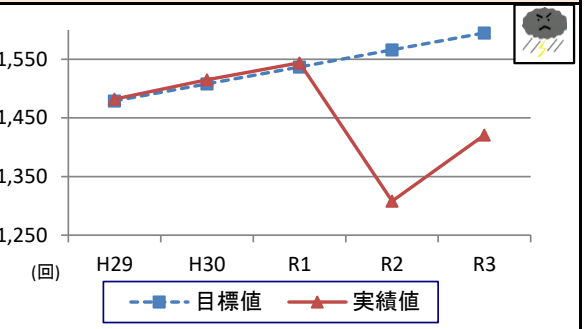
施策		22 地域の防災力を高める				
数値目標	57 非常食備蓄数(累計)	R3部局マゼンタ方針成果報告書 市民11				
目的	適正に備蓄を整備することにより、災害時の被害減少と被災者負担の軽減を図る。					
担当所属	危機管理課	基準値(H27) 129,290食				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	144,805	160,320	175,834	191,349	206,864	
実績値	163,280	179,483	195,686	208,688	210,548	
算出根拠	非常食数想定避難者数(25,858人)の2日分相当となる主食5食分と副食3食分の非常食数					
数値目標	58 災害時マンホールトイレの設置箇所数(累計)	R3部局マゼンタ方針成果報告書 市民11				
目的	避難所の衛生面の向上を図る。					
担当所属	危機管理課	基準値(H27) 8箇所				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	14	19	24	29	34	
実績値	14	17	19	21	22	
算出根拠	小学校における設置箇所数					
数値目標	59 個別支援計画新規作成者数	R3部局マゼンタ方針成果報告書 市民11				
目的	避難行動要支援者の支援体制の充実を図る。					
担当所属	危機管理課	基準値(H27) 96人				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	300	300	300	300	300	
実績値	303	307	304	150	190	
算出根拠	避難行動要支援者と自治会長等の地域住民が、共に作成する避難支援プラン(個別支援計画)の新規作成数。					
施策		23 火災等から人命と財産を守る				
数値目標	60 危険及び劣化設備等の更新数(累計)	R3部局マゼンタ方針成果報告書 消防9				
目的	施設の安全稼働と長寿命化を図る。					
担当所属	消防総務課	基準値(H27) -箇所				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	6	11	17	23	27	
実績値	5	11	13	15	17	
算出根拠	消防庁舎、消防署、分遣所、分団詰所等の危険・劣化設備等のうち、更新した設備等の数					
数値目標	61 住宅火災発生件数	R3部局マゼンタ方針成果報告書 -				
目的	住宅火災の発生件数抑制と、火災による死者を減少させる。					
担当所属	予防課	基準値(H27) 24件(5年間平均)				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	23	22	21	21	20	
実績値	12	21	22	14	16	
算出根拠	火災発生件数のうち、専用住宅及び共同住宅で発生した火災の合計数					

数値目標	62 救急救命士の新規資格取得者数	R3部局マシメント方針成果報告書 消防8			
目的	高規格救急車に、常時救急救命士を1人以上配置し、高度な救急救命処置を行うことで、救命効果が向上する。				
担当所属	救急救助課	基準値(H27) 4人			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	4	4	4	4	4
実績値	4	5	4	2	4
算出根拠	救急救命士資格の新規取得者数				

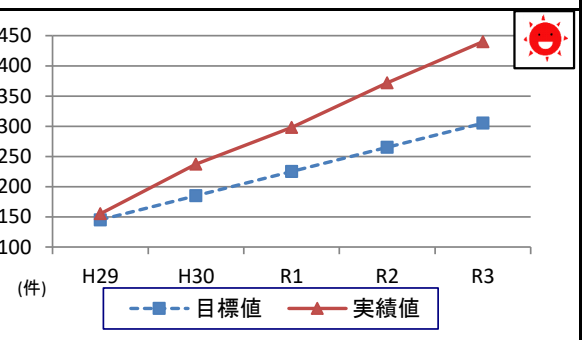


施策 24 地域における防犯力を向上する

数値目標	63 防犯隊出動回数	R3部局マシメント方針成果報告書 市民13			
目的	防犯隊の活動が活性化することにより、犯罪発生件数が減少し、市民の安全安心な暮らしに寄与する。				
担当所属	危機管理課	基準値(H27) 1,450回(5年間平均)			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	1,479	1,508	1,537	1,566	1,595
実績値	1,482	1,515	1,544	1,308	1,421
算出根拠	パトロール等を含めた防犯隊の出動回数				

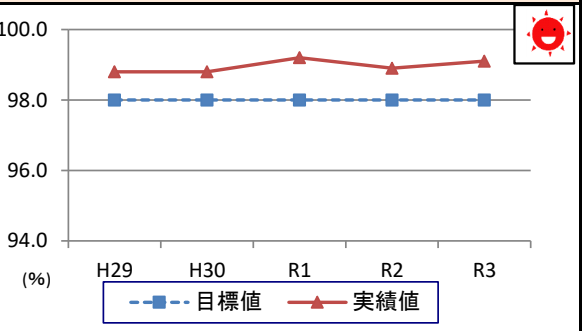


数値目標	64 管理不全の空き家等が解消された件数(累計)	R3部局マシメント方針成果報告書 建設13			
目的	空き家等が適正に管理され、老朽危険な空き家等が修繕・除却されることにより、市民の安全で安心な生活環境の維持を図る。				
担当所属	住宅政策課	基準値(H27) 76件			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	145	185	225	265	305
実績値	155	237	298	372	440
算出根拠	市の行政措置を受けて修繕された物件、及び除却支援事業を活用し除却された空き家等の総件数				



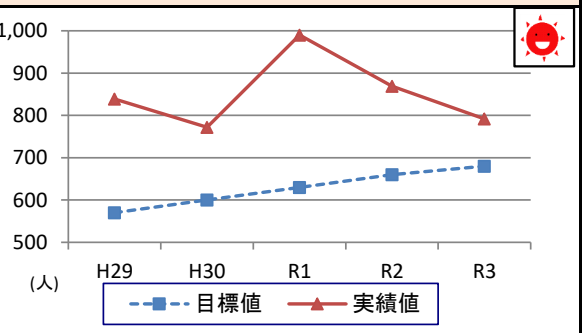
施策 25 安全で安心な消費生活を支える

数値目標	65 消費生活相談の解決率	R3部局マシメント方針成果報告書 市民3			
目的	相談解決率を高めることにより、相談者の安心・安全を確保する。				
担当所属	消費者センター	基準値(H27) 98.0%(5年間平均)			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
実績値	98.8	98.8	99.2	98.9	99.1
算出根拠	解決を見た相談件数/相談総件数×100				



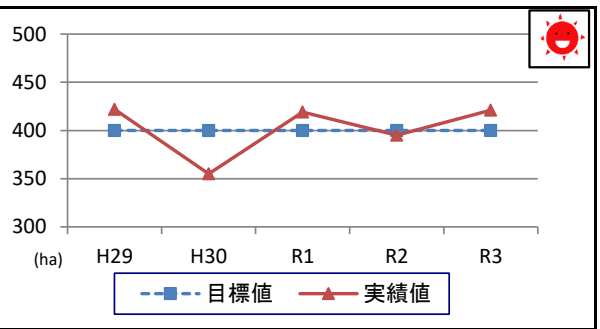
施策 26 交通安全対策を推進する

数値目標	66 高齢者運転免許証自主返納者数	R3部局マシメント方針成果報告書 都戦14			
目的	運転に不安を持つ高齢者が免許返納を行うことで、交通事故発生数の減少を図る。				
担当所属	地域交通課	基準値(H27) 377人			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	570	600	630	660	680
実績値	839	772	990	869	792
算出根拠	福井市内の満65歳以上の運転免許証自主返納者数				

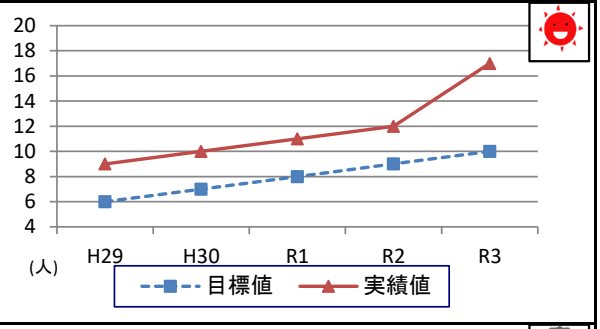


施策		27 稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る				
数値目標	67 集落営農組織等への農地集積率 <small>R3部局マシナリット方針成果報告書</small>					
目的	集積・集約を進めることにより、生産コストの低減や農産品の高付加価値化など、儲かる農業の構造を確立する。					
担当所属	農政企画課	基準値(H27) 64.3%				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	72.0	76.0	80.0	80.0	80.0	
実績値	71.4	72.1	73.9	76.3	76.4	
算出根拠	集落営農組織等の経営面積／経営耕地面積×100					
数値目標	68 園芸に取り組む経営体(担い手)の数(累計) <small>R3部局マシナリット方針成果報告書</small>					
目的	園芸の担い手が増え産地化が進むことにより、新たに園芸に取り組む生産者の増加を図る。					
担当所属	農政企画課	基準値(H27) 104件				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	125	138	150	162	174	
実績値	129	143	154	160	161	
算出根拠	認定農業者(個人・組織)、認定就農者、集落営農組織のうち、園芸に取り組む経営体の数					
数値目標	69 生産推奨品目の作付面積(累計) <small>R3部局マシナリット方針成果報告書</small>					
目的	推奨品目の生産規模拡大により、市場の要望へ対応し、特産化を図る。					
担当所属	農政企画課	基準値(H27) 97ha				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	114	122	130	138	146	
実績値	133.8	137.2	140.4	142.6	162.2	
算出根拠	推奨品目の作付面積の合計					
数値目標	70 新規就農者数(累計) <small>R3部局マシナリット方針成果報告書</small>					
目的	農業への定着を促進することで、意欲ある担い手を確保し、地域農業の活性化を図る。					
担当所属	農政企画課	基準値(H27) 19人				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	29	34	39	44	49	
実績値	37	50	56	62	71	
算出根拠	新規で青年就農給付金もしくは就農奨励金等の給付があった就農者の件数					
施策		28 伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する				
数値目標	71 森林組合の新規就業者数(累計)(林業新規就業者含む) <small>R3部局マシナリット方針成果報告書</small>					
目的	林業への定着を促進することで、意欲ある担い手を確保し、林業の活性化を図る。					
担当所属	林業水産課	基準値(H27) 23人				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	25	27	29	31	33	
実績値	36	39	44	47	50	
算出根拠	福井森林組合、美山町森林組合、丹生郡森林組合への聞き取りによる森林組合への新規就業者数(林業への就業者含む)					

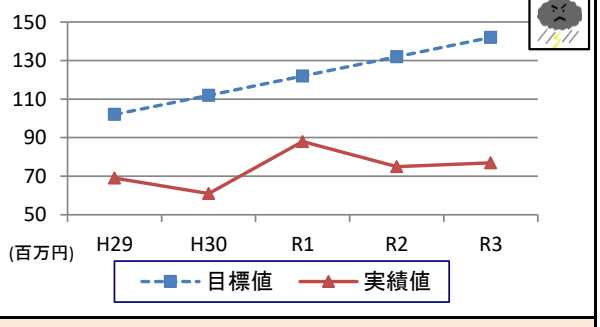
数値目標	72 間伐面積(除伐面積含む)		R3部局マゼンタ方針成果報告書 農林11		
目的	林家の生産意欲低下を抑制し、持続的で多面的な森林機能を保持する。				
担当所属	林業水産課	基準値(H27)	381ha		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	400	400	400	400	400
実績値	422	355	419	395	421
算出根拠	間伐及び除伐した整備面積				



数値目標	73 漁業新規就業者数(累計)		R3部局マゼンタ方針成果報告書 農林7		
目的	漁業への定着を促進することで、意欲ある担い手を確保し、漁業の活性化を図る。				
担当所属	林業水産課	基準値(H27)	5人		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	6	7	8	9	10
実績値	9	10	11	12	17
算出根拠	福井市漁業協同組合、越廼漁業協同組合への聞き取りによる漁業新規就業者数				

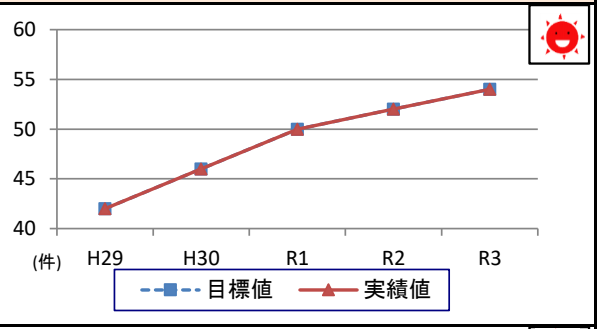


数値目標	74 小規模漁船漁業生産額		R3部局マゼンタ方針成果報告書 -		
目的	小規模漁船漁業を営む個人事業者の新規加入や代替わりが促進され、漁業従事者減少の抑制を図る。				
担当所属	林業水産課	基準値(H27)	92百万円		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	102	112	122	132	142
実績値	69	61	88	75	77
算出根拠	漁業種別生産額全体から定置網漁業・底曳網漁業の生産額を差し引いた額				

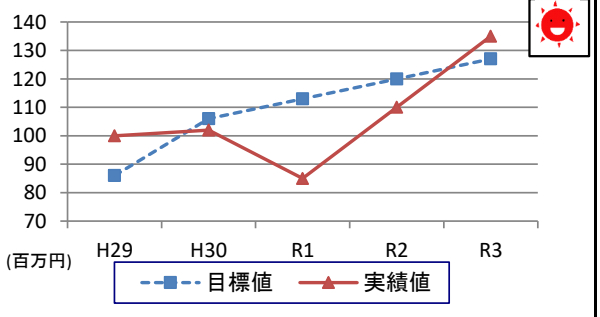


施策 29 農産物のブランド化と需要を拡大する

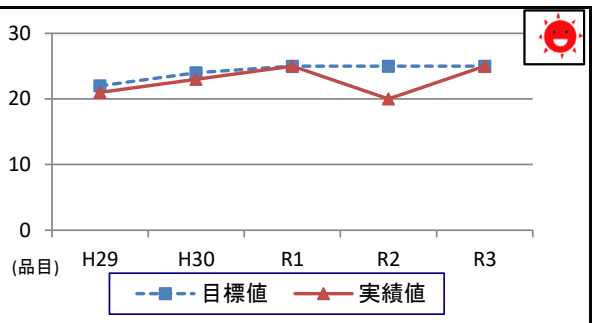
数値目標	75 新たに6次産業に取り組む経営体数(累計)		R3部局マゼンタ方針成果報告書 農林3		
目的	経営の多角化と流通販路の開拓により、農業従事者の所得向上を図る。				
担当所属	農政企画課	基準値(H27)	34件		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	42	46	50	52	54
実績値	42	46	50	52	54
算出根拠	6次産業化普及促進事業による補助件数				



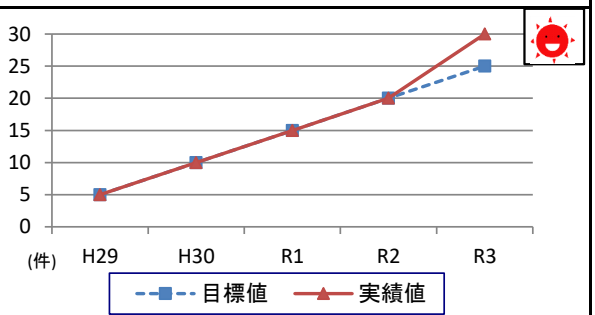
数値目標	76 地域ブランド品販売額		R3部局マゼンタ方針成果報告書 農林3		
目的	地域ブランド品を産地化することにより、安定的な生産の確保と販路開拓に繋がり、本市の農産物の認知度向上を図る。				
担当所属	農政企画課	基準値(H27)	66百万円		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	86	106	113	120	127
実績値	100	102	85	110	135
算出根拠	JAのルートにより市場や直売所で地域ブランド品が販売された額				



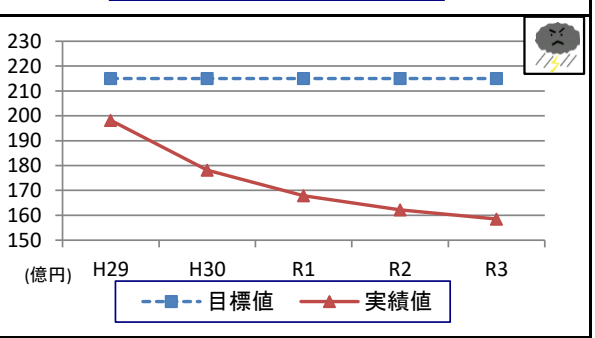
数値目標	77 学校給食における市内産農産物の使用品目数		R3部局マゼット方針成果報告書 農林4		
目的	若い世代の望ましい食習慣の形成と地産地消を推進する。				
担当所属	農政企画課	基準値(H27)	20品目		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	22	24	25	25	25
実績値	21	23	25	20	25



算出根拠	小中学校給食において使用された市内産農産物の品目数				
数値目標	78 新たに販路開拓に取り組む事業者数(累計)		R3部局マゼット方針成果報告書 農林3		
目的	本市の食材の認知度が高まることにより、取引量が増加し、農家の所得向上や生産意欲の向上を図る。				
担当所属	農政企画課	基準値(H27)	一件		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	5	10	15	20	25
実績値	5	10	15	20	30

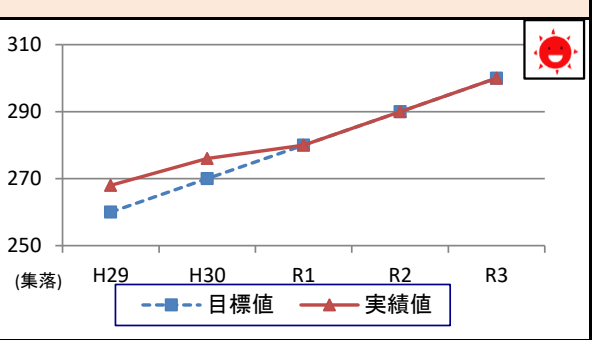


算出根拠	新規の販売ルートの開拓に取り組んだ事業者数				
数値目標	79 市場の生鮮食料品取扱高		R3部局マゼット方針成果報告書 -		
目的	安定的な取扱高を確保することにより、市民への新鮮な食品の安定供給を図る。				
担当所属	中央卸売市場	基準値(H27)	215億円		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	215	215	215	215	215
実績値	198.2	178.2	167.9	162.2	158.5

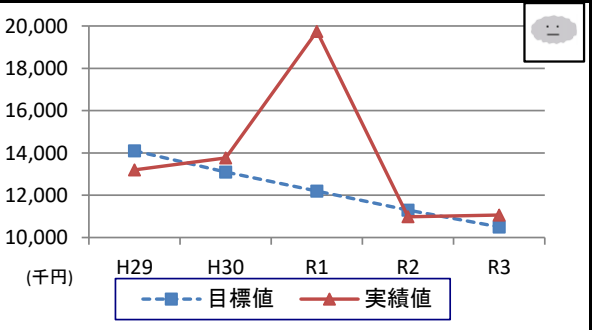


施策 30 農山漁村の生活環境を守る

数値目標	80 農村の基盤整備、保全活動に取り組んだ集落数(農家組合数)(累計)		R3部局マゼット方針成果報告書 農林8		
目的	農村の基盤整備、保全活動の取組を推進することにより、将来の農業経営の転換を図る。				
担当所属	農村整備課	基準値(H27)	250集落		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	260	270	280	290	300
実績値	268	276	280	290	300



算出根拠	多面的機能支払交付金、市単独土地改良事業補助金、小規模県単独土地改良事業補助金により支援した集落数				
数値目標	81 有害鳥獣による農作物の被害金額		R3部局マゼット方針成果報告書 農林10		
目的	被害金額の減少により、農業への従事意欲の向上を図る。				
担当所属	有害鳥獣対策室	基準値(H27)	16,287千円		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	14,100	13,100	12,200	11,300	10,500
実績値	13,195	13,759	19,749	10,980	11,068

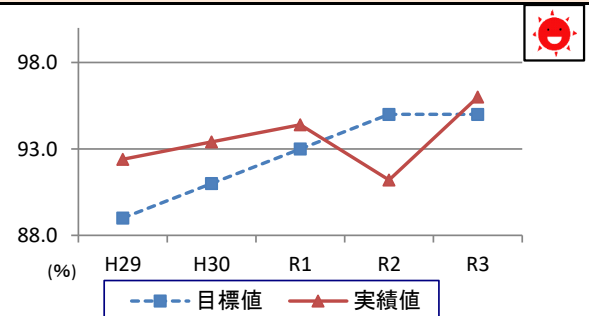
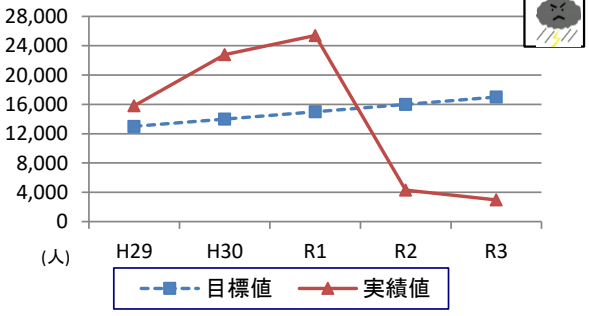
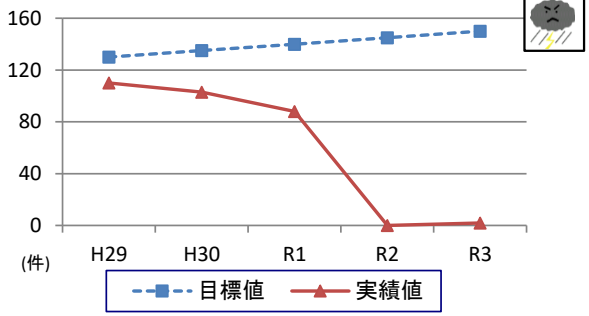
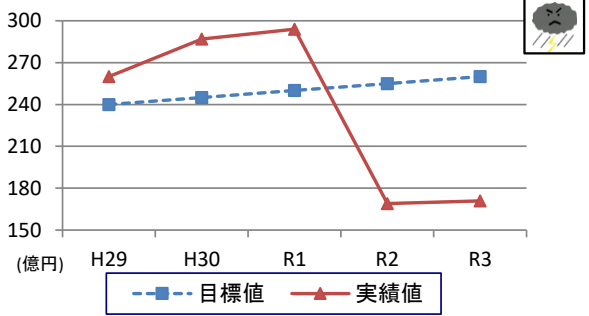


施策		31 地域の商工業を振興する				
数値目標	82 マーケット開発支援事業による支援件数(累計)	R3部局マネジメント方針成果報告書				—
目的	市内中小企業者の事業が拡大することにより、地域産業の振興を図る。					
担当所属	商工振興課	基準値(H27)				57件
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	150	225	300	375	450	
実績値	109	147	245	424	517	
算出根拠	各種支援メニューにより支援した件数の合計					
数値目標	83 新事業の創出件数(累計)	R3部局マネジメント方針成果報告書				—
目的	本市産業に好影響を及ぼす新事業の創出が促進されることにより、本市経済の好循環化と拡大を図る。					
担当所属	商工振興課	基準値(H27)				2件
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	4	5	6	7	8	
実績値	5	6	7	9	11	
算出根拠	新事業創出支援事業の支援件数					
数値目標	84 企業立地支援指定数	R3部局マネジメント方針成果報告書				—
目的	企業立地を推進することで、産業の発展を促すとともに、新たな雇用の場を創出する。					
担当所属	商工振興課	基準値(H27)				4社
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	4	5	5	6	6	
実績値	13	14	15	10	8	
算出根拠	企業立地助成金などの指定をした年度ごとの企業数					
施策		32 創業の促進と事業承継の円滑化を支援する				
数値目標	85 市内での創業者数(累計)	R3部局マネジメント方針成果報告書				—
目的	様々なビジネスが生まれることにより、市民生活の利便性向上と、経済の好循環を促進する。					
担当所属	商工振興課	基準値(H27)				一人
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	80	160	240	320	400	
実績値	76	167	261	346	448	
算出根拠	福井市創業支援事業計画に掲載された事業に参加した人が創業した件数					
数値目標	86 事業承継相談者数	R3部局マネジメント方針成果報告書				—
目的	中小企業者の事業承継に関する悩みや課題を解決することにより、事業者の事業承継の円滑化を図る。					
担当所属	商工振興課	基準値(H27)				一件
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	5	5	5	5	5	
実績値	5	6	8	2	11	
算出根拠	市の窓口における事業承継の相談件数					

施策 33 福井で働くことを応援する					
数値目標	87 U・Iターン就職促進事業を利用し て就職した学生及び社会人の数		R3部局マゼット方針成果報告書 商工8		
目的	本市へのU・Iターン就職者が増加することにより、労働力の確保と雇用の安定化を図る。				
担当所属	しごと支援課	基準値(H27)		3人	
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	60	60	60	60	60
実績値	49	63	55	37	114
算出根拠	大学生を対象としたサマーキャンプ事業等に参加し、後に市内企業に就職した人、及び社会人を対象としたU・Iターン雇用奨励金を受けた人の合計人数				
数値目標	88 就職支援事業を利用して就職し た若者及び女性の数		R3部局マゼット方針成果報告書 商工9		
目的	若者の雇用の安定と女性の活躍の促進により、地域経済の活性化を図る。				
担当所属	しごと支援課	基準値(H27)		76人	
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	110	110	110	110	110
実績値	110	91	111	44	78
算出根拠	奨励金及び助成金制度並びに就職支援事業の利用者のうち市内企業への就職者数				
数値目標	89 ワークライフバランス推進事業に よる支援企業数		R3部局マゼット方針成果報告書 商工10		
目的	離職防止による企業の人材確保と、長時間労働の抑制による労働生産性の向上を図る。				
担当所属	しごと支援課	基準値(H27)		5社	
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	35	35	35	35	35
実績値	35	54	60	46	64
算出根拠	ワークライフバランス推進事業に取り組む企業数				

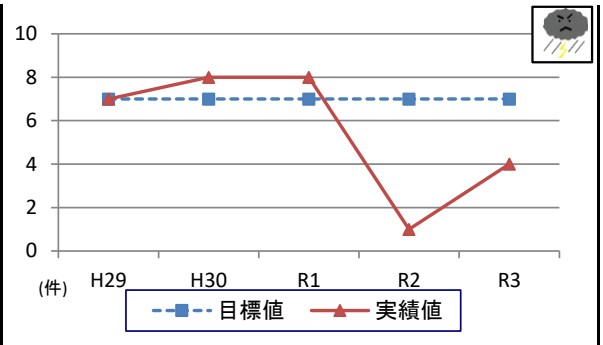
施策 34 文化や自然を活かした観光資源を磨き上げ発信する					
数値目標	90 一乗谷観光客入込数		R3部局マゼンタ方針成果報告書 商工13		
目的	別格の観光地としての一乗谷ブランドを磨き上げるにより、観光客の満足度向上を図る。				
担当所属	おもてなし観光推進課	基準値(H27)	108万人		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	109	109	110	110	110
実績値	80	72	106	85	57
算出根拠	復原町並や遺跡、一乗滝等に至る広域エリアを算出対象とし、復原町並及び県立朝倉氏遺跡資料館の入場者数の実数に係数を乗じて推計				
数値目標	91 まちなか観光客入込数		R3部局マゼンタ方針成果報告書 商工14		
目的	観光資源の充実と利便性の向上により、まちなかの滞在時間の延長と周遊性の向上を図る。				
担当所属	おもてなし観光推進課	基準値(H27)	129万人		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	134	136	138	140	142
実績値	153	186	193	101	133
算出根拠	養浩庭館園やおさごえ民家園など、市街地にある観光施設の利用者数をもとに、一部係数を乗じて推計				
数値目標	92 越前海岸観光客入込数		R3部局マゼンタ方針成果報告書 商工15		
目的	越前海岸の知名度向上により、ブランド力が高まるとともに、越前海岸を訪れる観光客の増加を図る。				
担当所属	おもてなし観光推進課	基準値(H27)	47万人		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	49	49	50	50	51
実績値	46	41	39	29	27
算出根拠	地区観光協会へ、海水浴場や越前水仙の里公園など、越前海岸周辺にある観光施設の利用者数を聞き取り、一部係数を乗じて推計				
数値目標	93 体験交流型観光メニュー数(累計)		R3部局マゼンタ方針成果報告書 商工12		
目的	様々な体験交流型メニューを提供することにより、市内観光の滞在時間延長を図る。				
担当所属	おもてなし観光推進課	基準値(H27)	一個		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	20	30	35	40	45
実績値	20	41	63	39	67
算出根拠	市作成の「観光素材集」に掲載する、体験・交流型観光メニューの数				
数値目標	94 市内宿泊者数		R3部局マゼンタ方針成果報告書 商工12		
目的	宿泊者数が増加することにより、観光消費額の増大を図る。				
担当所属	おもてなし観光推進課	基準値(H27)	55万人		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	57	58	59	60	61
実績値	71	81	78	47	53
算出根拠	宿泊者数を把握できる宿泊施設への聞き取り数と市内観光入込客数に係数を乗じて推計した数の合計				

施策		35 観光を通してイメージアップを推進する				
数値目標	95 市内観光消費額	R3部局マゼット方針成果報告書 商工12				
目的	観光消費額が増大することにより、地域経済が活性化し、市内全域への経済効果の波及を促進する。					
担当所属	おもてなし観光推進課	基準値(H27) 231億円				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	240	245	250	255	260	
実績値	260	287	294	169	171	
算出根拠	市内観光入込客数を県外・県内客、日帰り・宿泊客に分け、それぞれに1人あたりの平均観光消費額の単価(県のデータを参照)を乗じた合計により推計					
数値目標	96 コンベンション開催件数	R3部局マゼット方針成果報告書 商工12				
目的	コンベンションの開催が増えることにより、市内での宿泊者が増え、観光消費額の増大を図る。					
担当所属	おもてなし観光推進課	基準値(H27) 119件				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	130	135	140	145	150	
実績値	110	103	88	0	2	
算出根拠	財団法人福井観光コンベンションビューローが、コンベンション開催助成金を交付した件数					
数値目標	97 外国人宿泊者数	R3部局マゼット方針成果報告書 -				
目的	外国人観光客を増やすことにより、本市への新たなビジターが増え、にぎわいと観光消費額の増大を図る。					
担当所属	おもてなし観光推進課	基準値(H27) 10,500人				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	13,000	14,000	15,000	16,000	17,000	
実績値	15,800	22,800	25,400	4,282	2,957	
算出根拠	市内宿泊施設等への直接調査による人数					
施策	36 おもてなしの充実を図る					
数値目標	98 福井市を訪れた人の好意的な意見の割合	R3部局マゼット方針成果報告書 商工16				
目的	本市を訪れた人に、市民総ぐるみのおもてなし運動を好意的に受けとめてもらえることにより、本市への観光リピーターの増加に繋げる。					
担当所属	おもてなし観光推進課	基準値(H27) 85.0%				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	89.0	91.0	93.0	95.0	95.0	
実績値	92.4	93.4	94.4	91.2	96.0	
算出根拠	市に好意的な意見の数/おもてなし体験便り※返送数×100 (※市内の主要観光施設や宿泊施設等に返信用ハガキ付きのおもてなし体験日より募集チラシを設置し、観光客からの体験談を募集)					



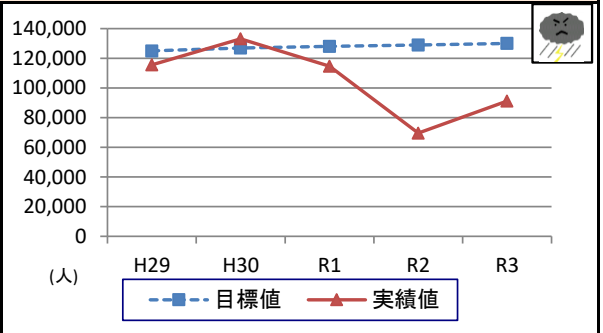
施策		37 市民の誇りとなる文化芸術を振興する				
数値目標	99 市民文化祭参加者数	R3部局マゼンタ方針成果報告書 商工19				
目的	多くの市民が芸術文化活動に接することで、芸術文化への関心が高まるとともに、担い手の育成と文化振興を図る。					
担当所属	文化振興課	基準値(H27) 7,058人				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	7,100	7,150	7,200	7,250	7,300	
実績値	6,356	5,558	5,216	2,706	2,697	
算出根拠	展示会場来場者+茶道・間香会入席者+将棋大会参加者+芸能大会入場者+体験企画参加者数の総数					
数値目標	100 美術館企画展の入場者数	R3部局マゼンタ方針成果報告書 商工21				
目的	魅力的な企画展を開催することにより入場者を増やし、本市の文化芸術の振興を図る。					
担当所属	美術館	基準値(H27) 19,388人				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	63,000	64,000	65,000	66,000	67,000	
実績値	22,410	46,314	81,659	47,447	77,958	
算出根拠	企画展の来場者数					
施策		38 歴史や文化遺産を保存・継承し活用する				
数値目標	101 郷土歴史博物館企画展の入場者数	R3部局マゼンタ方針成果報告書 商工22				
目的	魅力的な企画展を開催することにより入場者を増やし、多くの人に福井の歴史・文化の素晴らしさを伝える。					
担当所属	郷土歴史博物館	基準値(H27) 24,300人				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	24,600	24,700	24,800	24,900	25,000	
実績値	23,782	26,065	26,002	18,183	16,080	
算出根拠	企画展及び特別陳列の入場者数					
数値目標	102 文化施設の入場者数	R3部局マゼンタ方針成果報告書 商工20				
目的	養浩館庭園や愛宕坂界隈の歴史や文化を活かし、魅力を発信することで、まちなかから足羽山への回遊性を向上させ、観光客等の増加を図る。					
担当所属	文化振興課	基準値(H27) 101,643人				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	112,020	113,190	114,360	115,530	116,700	
実績値	96,094	94,960	84,180	45,949	51,671	
算出根拠	養浩館庭園、愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念文学館、グリフィス記念館の総入場者数					

数値目標	103 無形民俗文化財各種行事の開催件数		R3部局マネジメント方針成果報告書 教育27		
目的	無形民俗文化財の継承を図る。				
担当所属	文化財保護課	基準値(H27)	7件		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	7	7	7	7	7
実績値	7	8	8	1	4
算出根拠	国・県・市指定及び国選択無形民俗文化財の行事開催件数 (睦月神事、糸崎の仏舞、国山の神事、馬鹿ばやし、花山行事、したんじょう行事、じじぐれ祭、オシッサマのお渡り、免鳥夜網節)				



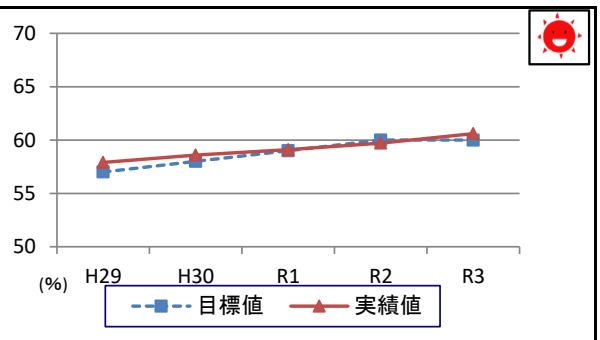
施策 39 自然科学教育で子どもの夢を育てる

数値目標	104 自然史博物館及びセーレンプラネットの入場者数		R3部局マネジメント方針成果報告書 -		
目的	自然史博物館とセーレンプラネットを、質の高い自然科学博物館とすることで、市民の郷土の自然や環境に対する関心を高めるとともに、観光客等に本市をPRする。				
担当所属	自然史博物館	基準値(H27)	19,325人(分館除く)		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	125,000	127,000	128,000	129,000	130,000
実績値	115,617	133,097	114,611	69,586	91,179
算出根拠	自然史博物館及びセーレンプラネットの入場者数				



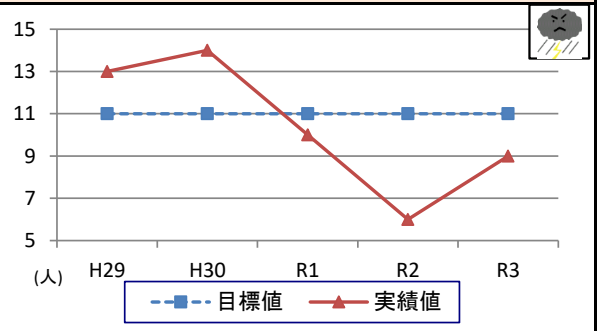
施策		40 子どもの生きる力を伸ばす学校教育を充実する				
数値目標	105 外国語活動の授業にALT(外国語指導助手)等が訪問する回数	R3部局マネジメント方針成果報告書 教育7				
目的	早期段階から、外国や異文化に興味を持つ子どもの育成を図る。					
担当所属	学校教育課	基準値(H27) 24回				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	24	28	28	33	33	
実績値	24	28	27	30	33	
算出根拠	小学3・4年生対象の年間授業回数					
数値目標	106 小中学校でのキャリア教育プログラムを活用した学級の割合	R3部局マネジメント方針成果報告書 教育9				
目的	企業等の人づくり・ものづくりの視点が、学校教育における様々な学習と結び付くことにより、社会・職業との関連を重視した実践的・体験的な活動の充実を図る。					
担当所属	学校教育課	基準値(H27) 100%				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	50	70	100	100	100	
実績値	58.2	84.0	99.0	82.0	100.0	
算出根拠	キャリア教育プログラム活用した学級数/小2・小5・中1の全学級数×100					
数値目標	107 いきいきサポーター配置人数(累計)	R3部局マネジメント方針成果報告書 教育5				
目的	児童生徒一人ひとりのニーズに応じた個別の支援が行われることにより、すべての児童生徒が楽しく有意義な学校生活を送ることを支援する。					
担当所属	学校教育課	基準値(H27) 65人				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	71	74	74	75	80	
実績値	83	84	85	85	84	
算出根拠	いきいきサポーター※の配置人数 (※発達障がいなどの傾向があり、集団での活動が苦手な児童生徒に対して、学習支援や生活指導、学校生活に関わる諸問題の指導支援を行う非常勤職員)					
施策		41 子どもの健康増進を図る				
数値目標	108 児童・生徒自らが考え行動できる学校防災教育の実施率	R3部局マネジメント方針成果報告書 教育10				
目的	避難訓練の実施により防災に必要な知識の習得ができ、また訓練の事前・事後に指導を行うことで、子どもが主体的に判断し行動する力を養成する。					
担当所属	保健給食課	基準値(H27) 100%				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	100	100	100	100	100	
実績値	100	100	100	100	100	
算出根拠	避難訓練を実施した小中学校数/全小中学校数×100					
数値目標	109 トップアスリートや一流指導者による実技指導の回数	R3部局マネジメント方針成果報告書 教育13				
目的	全ての生徒に、トップアスリートや一流指導者から直接指導を受ける機会を提供することにより、保健体育全体の底上げ、及び顧問教諭の指導力向上を図る。					
担当所属	保健給食課	基準値(H27) 2回				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	2	2	2	2	2	
実績値	2	2	1	0	0	
算出根拠	プロスポーツや国体経験者等を招いて実施する実技指導の回数					

数値目標	110 学校給食における和食給食の割合	R3部局マニッジメント方針成果報告書 教育11
目的	子ども達が、「和食」という日本人の伝統的な食文化を維持・継承していく大切さを学び、理解することで、次世代へ和食文化を伝え、継承することを促進する。	
担当所属	保健給食課	基準値(H27) 56.6%
年度	H29 H30 R1 R2 R3	
目標値	57 58 59 60 60	
実績値	57.9 58.6 59.1 59.7 60.6	
算出根拠	和食給食日／給食日×100	

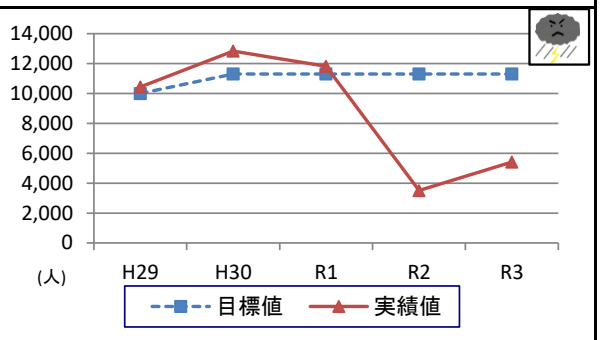


施策 42 子どもの健全な育成を図る

数値目標	111 保護者や地域と連携した授業に招いたゲストティーチャーの人数(1学級当たり)	R3部局マニッジメント方針成果報告書 -
目的	保護者や地域と連携し、体験学習の充実や地域人材の活用を推進することで、郷土への誇りと愛着を持つ子どもの育成を図る。	
担当所属	学校教育課	基準値(H27) 11人
年度	H29 H30 R1 R2 R3	
目標値	11 11 11 11 11	
実績値	13 14 10 6 9	
算出根拠	(小学校に招いたゲストティーチャーの延べ人数/小学校全学級数)+(中学校に招いたゲストティーチャーの延べ人数/中学校全学級数)	

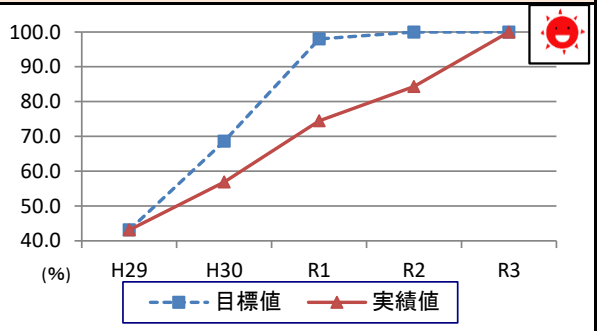


数値目標	112 少年自然の家施設利用者数	R3部局マニッジメント方針成果報告書 -
目的	自然体験学習を通じて、郷土愛を醸成し、豊かな感情を持つ子どもを育成する。	
担当所属	青少年課	基準値(H27) 11,129人
年度	H29 H30 R1 R2 R3	
目標値	10,000 11,300 11,300 11,300 11,300	
実績値	10,427 12,833 11,816 3,508 5,406	
算出根拠	施設利用者数	

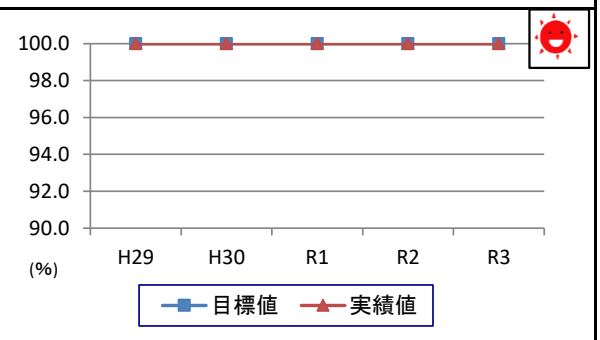


施策 43 学びの場としての学校環境を整備する

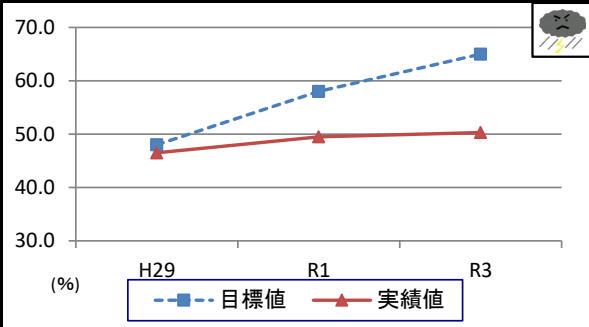
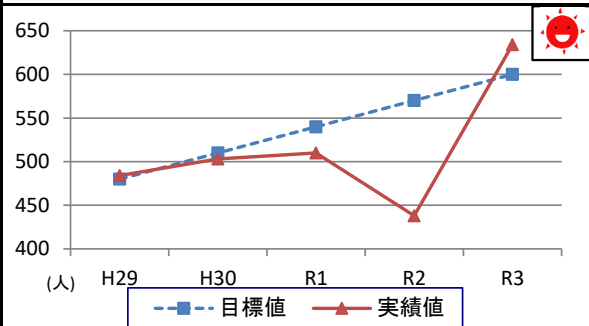
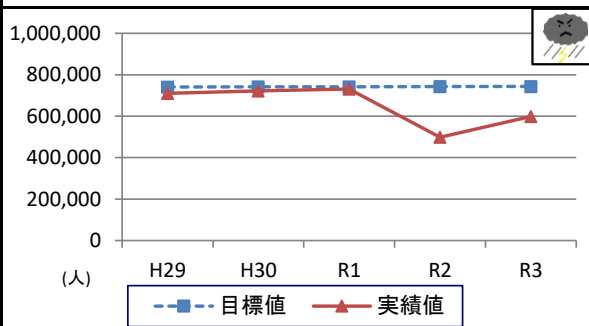
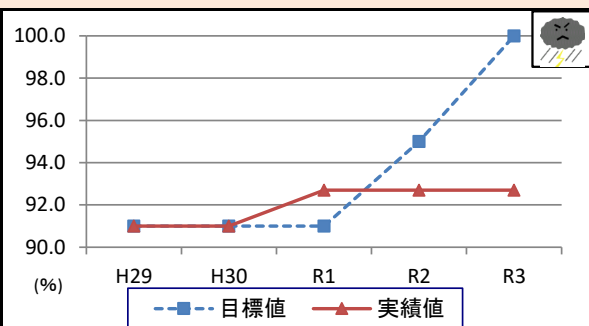
数値目標	113 窓ガラス飛散防止対策実施率	R3部局マニッジメント方針成果報告書 教育18
目的	窓ガラス飛散による危険性を無くすことにより、災害時の安全性や防災性の高い環境を提供する。	
担当所属	教育総務課	基準値(H27) 100%
年度	H29 H30 R1 R2 R3	
目標値	43.1 68.6 98.0 100.0 100.0	
実績値	43.1 56.9 74.5 84.3 100.0	
算出根拠	窓ガラス飛散防止実施体育館/拠点避難所に指定された体育館×100	



数値目標	114 通学路照明灯の設置率	R3部局マニッジメント方針成果報告書 -
目的	夜間の暗い通学路を減少させることにより、子どもの安全性の向上を図る。	
担当所属	保健給食課	基準値(H27) 88.0%
年度	H29 H30 R1 R2 R3	
目標値	100.0 100.0 100.0 100.0 100.0	
実績値	100.0 100.0 100.0 100.0 100.0	
算出根拠	設置基数/設置基準を満たす要望※基数×100 (※各学校から市に設置の要望がある)	



施策		44 市民の生涯学習を支援する				
数値目標	115 公民館の耐震化率	R3部局マゼンタ方針成果報告書 教育20				
目的	計画的に公民館の耐震化を図ることで、公民館が安全・安心にその機能を発揮でき、地区活動の活性化や地域課題の解決に資する場を提供する。					
担当所属	生涯学習課	基準値(H27) 91.0%				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	91.0	91.0	91.0	95.0	100.0	
実績値	91.0	91.0	92.7	92.7	92.7	
算出根拠	耐震化済公民館数/全公民館数×100					
数値目標	116 図書館利用者数	R3部局マゼンタ方針成果報告書 教育24				
目的	図書館利用者が増えることにより、市民の読書への興味・関心が高まり、図書館が身近で暮らしに役立つ施設としての役割を果たす。					
担当所属	図書館	基準値(H27) 740,000人				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	740,740	741,480	742,220	742,960	743,700	
実績値	710,808	721,627	731,189	498,401	598,737	
算出根拠	移動図書館や講座、グループ学習などを含め、図書館を利活用した総人数					
数値目標	117 「福井学」講座参加者数	R3部局マゼンタ方針成果報告書 教育21				
目的	講座に参加した市民が郷土の知識を深め、興味を持つことで、福井市を積極的に発信できる人材の育成を図る。					
担当所属	生涯学習課	基準値(H27) 454人				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	480	510	540	570	600	
実績値	484	503	510	438	634	
算出根拠	中央公民館で実施する「福井学」講座※の参加者数 (※地域に根ざした郷土学習の取組を集約した「福井市民の誇りGUIDEBOOK」を活用)					
施策		45 市民の生涯スポーツを支援する				
数値目標	118 週1回以上運動やスポーツをする成人の割合	R3部局マゼンタ方針成果報告書 -				
目的	「いつでも」「どこでも」「だれでも」楽しみながら運動・スポーツに参加し、心身ともに健康で活力ある生活を送ることができる環境を整備する。					
担当所属	スポーツ課	基準値(H27) 40.9%(H26年度)				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	48.0		58.0		65.0	
実績値	46.5		49.5		50.3	
算出根拠	週1回以上運動やスポーツをすると回答した成人の数/回答数 (2年に1度実施の県民意識調査により算出)×100					



数値目標	119 国体ボランティア登録者数	R3部局マネジメント方針成果報告書	-
目的	円滑に大会を運営する。		
担当所属		基準値(H27)	一人
年度	H29	H30	R1 R2 R3
目標値	1,000	2,100	
実績値	1,190	2,180	
算出根拠	市の国体ボランティアに登録されたボランティアの実人数		
数値目標	120 花いっぱい運動参加団体数	R3部局マネジメント方針成果報告書	-
目的	歓迎ムードの高揚や景観美化を図る。		
担当所属		基準値(H27)	一団体
年度	H29	H30	R1 R2 R3
目標値	50	100	
実績値	57	133	
算出根拠	プランター等で花を育成する団体数		

